会長のページ　医療基本法 ……稲倉　正孝　3
年頭のご挨拶　宮崎県選出国会議員 ……　4
日州医談　有料老人ホームにおける諸問題 ……石川　智信　8
新　春　随　想 ……　10
　長沼弘三郎，牧元　　宏，大森　史彦，松元　征徳，松田　虎洋，山村　善教
　佐藤　信博，小野　武已，山田　孝俊，鮫島　哲也，友成　久雄
エコー・リレー（450） ……藤木　　啓，川西　昭人　20
宮崎大学医学部だより（附属病院薬剤部） ……奥村　　学　21
診療メモ　外傷後の不可解な痛み～複合性局所疼痛症候群
　（complex regional pain syndrome：CRPS）とは？～ ……立山　真吾　56
私が推薦する本　教室から消えた「物を見る目」，「歴史を見る目」 ……佐々木幸二　59

あなたできますか？（平成23年度医師国家試験問題より） ……　7
平成24年1月～12月までの叙位・叙勲及び表彰・祝賀受賞会員 ……　22
宮崎県感染症発生動向 ……　24
各郡市医師会だより ……　26
日医インターネットニュースから ……　28
薬事情報センターだより（309）新薬紹介（その60） ……　30
理事会日誌 ……　32
県医の動き ……　37
会員の異動・変更報告 ……　38
ベストセラー ……　39
ドクターバンク情報 ……　41
行　事　予　定 ……　45
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 ……　47
あ　と　が　き ……　62

お知らせ　宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ ……　6
　宮崎県医師会メーリングリストのご案内 ……　31
　宮崎県医師会医療情報コーナー ……　31
　平成24年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い ……　36
　日本医師会女性医師バンク ……　40
　郡市医師会への送付文書 ……　60

医師の心得

1．私たちは、皆さまの
　健康状態をよくお聞きします。

2．私たちは、皆さまに
　最善の医療を提供できるよう心がけます。

3．私たちは、皆さまに
　医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。

4．私たちは、皆さまの
　「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。

5．私たちは、皆さまの
　健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人　宮崎県医師会

（平成14年3月12日制定）

〔表紙作品：写真〕

星空燃ゆ

平成23年1月27日未明，新燃岳が轟音と共にマグマ噴火し，人々を震撼させ，自然の巨大なエネルギーの猛威を見せつけた。

2月1日満天の星空の夜，新燃岳の噴火口の赤熱のマグマが，キノコ状の噴煙に反射し真紅に照らされた火映現象で，冠雪の霧島連山の天空が茜色に明るくなり，自然の壮大なドラマに感動した。

小林市　前田俊二（まえだしゅんじ）

会長のページ

医療基本法

稲倉正孝（いなくらまさたか）

平成24年３月，日本医師会医事法関係検討委員会は「医療基本法」の制定に向けた具体的提言を公表した。

基本法とは，国政の重要な分野について，国の制度，政策に関する基本方針・原則・準則・大綱を明示したものとされている。憲法と個別法をつなぎ，憲法の理念を具体化する役割を果たす。基本法の指針に基づき，政策実現のために個別法が制定される。そのため，大半を抽象的な訓示規定・プログラム規定で構成される。教育基本法，障害者基本法，スポーツ基本法など40を超える基本法が存在しているが，医療に関する基本法は未だ制定されていない。

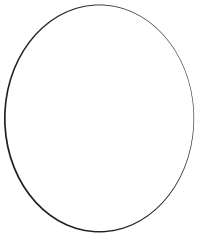
医療基本法に関するこれまでの経緯をみてみると，昭和47年に「医療基本法案」が通常国会に提出されているが，審議未了により廃案となった。その後は，医療基本法に関する議論は消退し，「医療法」等の改正による医療体系整備が続いたため，我が国の医療政策があまりにも医療提供体制中心の仕組みになり，患者・国民の声が医療政策に反映されにくくなった。低経済成長期を迎え，税収・予算が限られた中で国民の合意を得るためには，従来の政策決定を見直す必要があり，医療者と患者の信頼関係を構築するためにも医療基本法の制定が必要との機運が高まってきた。

平成24年12月22日に「医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウム」が日本医師会館で開催された。４人のシンポジストの発表と２人の指定発言，総合討論が行われた。医療基本法推進者が多数を占めた。その根拠としては，「憲法13条に定める個人の尊厳，幸福追求権及び25条の生存権の具体化」，「約90ある医療関係の法律に齟齬をきたさないため」，「終末期医療の在り方など国民的問題への対処」，「政権交代などの政治的弊害の回避」，「医療者と患者の信頼関係の構築」，「医師の地域偏在の是正などの医療提供体制の維持」，「患者の権利の保障」等が挙げられた。

医療基本法制定の目的は，医療提供者と患者・家族との信頼関係の構築にあり，関係者の権利と義務について偏りなく規定する必要がある。したがって，法律の名称は「患者権利法」ではなく，「医療基本法」が適切である。医療及び医療政策の基本構想を国が示し，医療関係法律に齟齬をきたさないようにするため，医療提供者，患者，国民，行政及び立法の関係者が協力して，国民全てが納得できる「医療基本法」を制定すべきである。

（平成25年２月４日）

年　頭　の　ご　挨　拶



衆議院議員（１区）
武　井　俊　輔

新年明けましておめでとうございます。宮崎県医師会の先生方におかれましては，ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

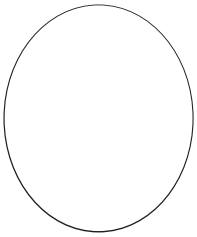
また昨年の衆議院総選挙におきましては，温かいご支援を賜り宮崎１区におきまして当選させて頂くことができました。公職選挙法の関係でお礼を申し上げることはできませんが，今後の活動において全力で頑張って参る決意を以てそれに代えさせて頂きます。

本年は冒頭からＴＰＰ交渉の問題が大きなテーマになって参りました。様々な規制緩和，医療の中に経済原理が作用すること，国民皆保険崩壊の懸念，そしていま予期しない様々な事態が起こりうることなどの懸念を考慮すれば，到底交渉参加の方向の選択肢は持ち得ず，県関連の国会議員及び県議会の皆様とも連携して臨んで参ります。

どこに住んでも等しく安定した医療が受けられること，まさに生命の安心安全は日本国民として最も尊重されるべきものです。特に私も選挙で訴えて参りましたが，地方に人が生き続けていくことの価値・意味を，先生方と共に世に問う役割を担って参りたいと思っております。

私自身も現場や様々な研修の場に積極的に足を運び，先生方のご意見を積極的に拝聴して参りたいと考えております。3歳とまだまだ若輩ではありますが，しかしなればこその行動力もあるとも自負しております。ぜひとも様々な場にお声掛け頂けますれば幸いに存じます。

最後に，宮崎県医師会の今後益々のご発展と皆様のご健勝，ご発展をお祈り申し上げ，新年のご挨拶とさせて頂きます。



衆議院議員（２区）
江　藤　　拓

新年明けましておめでとうございます。謹んでお慶びを申し上げます。先生方におかれましては，日頃より多大なご支援を賜り厚く御礼申し上げますとともに，県民の皆様の健康の増進と地域医療の確立のため，ご尽力頂いておりますことに深甚なる敬意を表します。

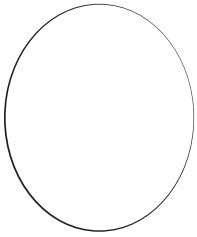
昨年は，年末の大変お忙しい時期に衆議院選挙が行われ，先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしました。お蔭様で３年３か月ぶりに政権を担うことが出来ました。また，私事で大変恐縮ですが，第二次安倍内閣において農林水産副大臣を拝命いたしました。我が国農政の大転換期に，このような大役を仰せつかり身の引き締まる想いで一杯でございますが，全力を尽くしてまいりますので，引き続きご指導賜ります様お願い申し上げます。

さて，昨年の８月，社会保障と税の一体改革に関連する法案が成立しました。そのうちの消費税の引上げにつきましては，我が国の誇る公的医療保険制度を堅持していくため，低所得者の保険料軽減措置の拡充等に使わせて頂くとともに，高齢化に伴い増え続けている社会保障費を賄い，将来世代への負担の先送りをさせないために必要であったことを改めて申し上げ，ご理解を賜りたいと存じます。

一方で，消費税につきましては，税率の引上げを前に，医療機関等の控除対象外消費税の問題解決が急がれるところであり，過去の“損税”分も含め，早急に対処すべき喫緊の問題であると認識しております。

窓口負担など他の問題につきましても引き続きご指導をいただきながら，医療の中核を担われている先生方が医療活動に専念でき，県民の皆様が安心して診療をうけられるよう，国政の場から，環境の整備に全力を尽くして参る所存であります。

結びに，貴会の益々のご発展と先生方のご健勝を心より祈念申し上げます。



衆議院議員（３区）
古　川　禎　久

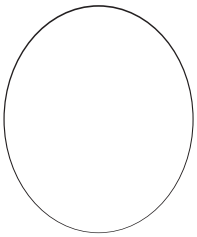
新年明けましておめでとうございます。先生方におかれましては，ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。先生方には平素より暖かいご指導を賜り，心より感謝申し上げますとともに，日夜県民の健康を守るため献身的にご尽力されておりますことに，深く敬意と謝意を表します。

さて，昨年は山中伸弥京都大学教授のノーベル生理学・医学賞受賞を受けて，再生医療が世界的に話題となり，医療の可能性に寄せられる期待は大きなものとなっています。その一方では，地域や診療科における医師の偏在という現実があります。そのような中で，地域医療に従事する総合医の育成を目指した，地域総合医育成サテライトセンターが設置されることとなりました。実現に注力された県，宮崎大学はじめ関係者の方々に感謝を申し上げますとともに，今後育成された総合医により，医師不足や診療科の偏りが解消され，県民の皆様が十分な医療を受けられる環境が整備されていくことと期待いたします。

昨年の社会保障・税一体改革により，消費税が今後引き上げられることとなりますが，我が国の優れた公的医療保険を将来にわたり支えていくために必要な財政上の手当てであり，医療機関に係る控除対象外消費税のいわゆる損税の問題につきましても，その解決に向けて努力して参ります。

今般政権与党に復帰させていただいた責任の重さを再認識し，安倍内閣の下で今後共，先生方が医療活動に専念し，県民の皆様が安心して治療を受けることのできるよう，公的医療保険制度を断固堅持し，医療環境の充実発展に全力を傾注する所存であります。

最後に，宮崎県医師会の益々のご発展と先生方のご健勝とご活躍を祈念申し上げ，新年のご挨拶とさせていただきます。



衆議院議員(九州ブロック)
中　山　成　彬

寒中お見舞い申し上げます。皆様には新たな気持で，新しい年をお過ごしのことと拝察致します。医師会の先生方には県民の生命と健康を守る為日夜ご尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。

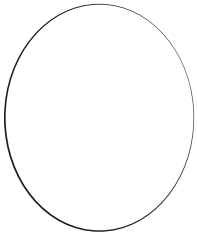
さて私は昨年12月の総選挙において比例復活で当選させていただきました。ご支援いただいた皆様に心から御礼申し上げます。思えば，前回の落選以来３年４か月，長い時間でした。私が懸念した以上にひどい民主党政権に怒りをおぼえながら，何も出来ない自分の無力に空しい思いを抱いて過ごして来ました。

幸い，第二次安倍内閣が誕生したとたん，世の中がパッと明るくなったような気がします。株価も上がり円安も進んでいます。しかしまだ口先介入の成果に過ぎません。これから，実体的に景気浮揚の諸施策を実行することにより，早く景気を回復し，経済を成長路線に乗せなければなりません。一番大切なのは，いかにして財源を確保するかだと思います。

また，今年は中国や北朝鮮，韓国との関係も厳しくなってきます。特に中国は，着々と尖閣列島奪取に向けて実戦的な行動と合わせ神経戦も仕掛けてくるものと思われます。領土を守る，日本を守るという，一丸となった日本人の覚悟が求められています。

この平成25年という年は，いろいろな面で後から振り返って，極めて重大な分水嶺であったと認識されることになると思います。ＴＰＰの問題も農業分野だけでなく，医療分野等においても国民生活に深刻な影響を与えるものであり，日本の美しい国柄を守るためにも反対します。

最後になりましたが皆様のご健康とご家族のご多幸を心から祈念申し上げます。



参議院議員
松　下　新　平

新年明けましておめでとうございます。

宮崎県医師会の皆様方におかれましては，新春の健やかなる輝かしい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また，皆様は，日頃から県民の健康維持と地域医療の推進，ならびに福祉の向上に日々ご尽力頂いていることと私共に対するご指導に感謝と敬意を表します。

さて，特に本年は，我が国の保健医療，医療保険制度における大きな節目の年となります。

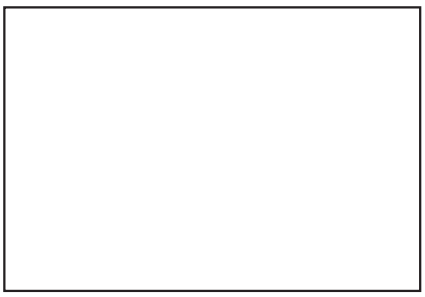
一昨年11月，野田首相はＴＰＰ交渉への参加を表明しておりましたが，ＴＰＰ交渉が医療分野にまで及んだ場合，混合診療の全面解禁，営利企業の医療への参入等が懸念されます。「誰でも」「どこでも」「いつでも」保健医療が受けられる優れた日本の国民皆保険制度を守っていくために再び政権を預かる我々が，役割を果たして参ります。

また，受診回数の多い高齢者や病気がちの方ほど負担が大きくなり，受診控えから病状の重篤化を招きかねない受診時定額負担の導入については，これから行われます通常国会において，どのように取り扱っていかれるか，しっかりと見定めて参ります。さらに，危機的状況にある地域医療を守り，地域医療の中核である診療所や中小病院等を支えていく観点から，平成26年度の診療報酬改定が行われるよう，注視して参ります。

日本の元気のため，宮崎の元気のためにしっかりと取り組んで参りますので，今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう，何卒よろしくお願い申し上げます。

最後に，宮崎県医師会の今後益々のご発展と皆様方の一層のご健勝，ご活躍をお祈り申し上げ，新年のご挨拶とさせて頂きます。

宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では，県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館１階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は，事前の予約が必要となりますので，ご希望の方は開催日の２週間前までに県医師会までご連絡ください。

お問合せ先
宮崎県医師会
ＴＥＬ　０９８５－２２－５１１８
ＦＡＸ　０９８５－２７－６５５０
担当　髙山・小川

あなたできますか？

― 平成23年度 医師国家試験問題より ―

（解答は61ページ）

1．胎児水腫の原因となるのはどれか。
a　クラミジア
b　風疹ウイルス
c　パルボウイルスB19
d　単純ヘルペスウイルス
e　水痘・帯状疱疹ウイルス

2．Monoclonal gammopathy of undetermined significance（MGUS）について正しいのはどれか。
a　貧血をきたす。
b　溶解性骨病変をきたす。
c　多発性骨髄腫には移行しない。
d　血清M蛋白量は3g/dl以上である。
e　M蛋白以外の免疫グロブリン量は正常である。

3．羊水塞栓症について正しいのはどれか。
a　未破水例に多い。
b　播種性血管内凝固を伴う。
c　母体の予後は良好である。
d　産婦の下腹部は板状硬となる。
e　妊娠高血圧症候群に合併しやすい。

4．多臓器不全患者の集中治療で適用される持続的血液濾過透析（CHDF）について，カテーテルを留置するために穿刺する部位で適切なのはどれか。
a　腕頭静脈
b　前腕皮静脈
c　下大静脈
d　大腿静脈
e　大伏在静脈

5．関節構成組織で，損傷によって部分的欠損が生じた場合に自然修復（内因性修復）が起こらないのはどれか。
a　骨
b　滑膜
c　靱帯
d　関節包
e　関節軟骨

6．メタボリックシンドロームで低下するのはどれか。
a　空腹時血糖
b　血中アディポネクチン
c　血中トリグリセリド
d　収縮期血圧
e　腹囲

7．54歳の女性。眼の違和感，のどの灼熱感および強い咳を主訴に来院した。風呂場でカビと汚れを除去するために酸性洗剤をスプレーし，直後に次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする洗剤をスプレーしたところ，眼の症状に続いてのどの症状が出現し，咳が止まらなくなったため救急外来を受診した。意識は清明。脈拍84/分，整。血圧132/74mmHg。流涙が著しい。眼球結膜に充血を認める。
この患者の症状の原因物質として最も考えられるのはどれか。
a　塩素
b　硫化水素
c　一酸化炭素
d　二酸化硫黄
e　二酸化窒素

8．死体検案書について正しいのはどれか。
a　死因統計の資料となる。
b　歯科医師も交付できる。
c　死亡診断書と同時に交付できる。
d　検案をした医師以外の医師も交付できる。
e　検案日と検案書交付日とは同一でなくてはならない。

日州医談

有料老人ホームにおける諸問題

常任理事　石川智信（いしかわともの ぶ）

介護保険が始まって14年目を迎えた。当時，介護保険は医療から介護を引き剥がす暴挙であるとの反対論があった。しかしながら医療と介護を分けることで，医療費の増大に歯止めをかけることができ，介護を家族ではなく，社会が平等に担うのだという説得に，国民は新たな介護保険という制度を受け入れることになった。この間，介護保険の功罪については様々な議論が展開されてきた。確かに介護の現場の大変さを白日のもとにさらけ出したという点では，意味のあることであった。また家族の介護負担が多少なりとも減少したことは事実であろう。しかしながら本来在宅での尊厳のある自立した生活を支援するはずのものであったこの制度が，結局は施設入所者の増加を促していることも否めない。そして医療と介護を引き離した結果による矛盾や新たな無駄が露呈してきている。

その原因は，何ら特別な資格がなくても誰でもが有料老人ホームを経営できるようになったことである。以前は特別養護老人ホームや老健施設，介護療養病床が入所先のほとんどを占めていた。しかしそれらは総量が規制されていたため，待機者の増大を招いていた。その解消手段として，規制緩和の名のもとに有料老人ホームを無秩序に認めることになった。利用者が入所先を自由に選択できるため，施設間の競争を促し，質の向上が自動的に図られると考えられたのであろう。しかしながら現状は，質で選びたくても選べない状況にある。

なぜならば医療福祉サービスの現場での最大の質の担保は，建物などのアメニティーではなく，人材の確保にある。しかし優秀な人材を確保できるだけの介護報酬が手当てされていないために，本当の意味での競争原理が働かない。あるのはホテルコストとしての入居管理費のダンピング競争だけである。安くした分をどこで埋め合わせているのであろうか。それは入居者に，介護保険の限度額一杯のサービスを使ってもらうことで補うことになる。施設に隣接した場所に通所介護（デイサービス）施設を作り，毎日のように通わせている。また同じ資本の系列会社で訪問介護事業所を作り，そこから介護スタッフを派遣するやり方も多い。

その結果，訪問看護や訪問リハビリなどの医療系のサービスが入りにくくなっている。医療系サービスを入れたくても，介護保険の限度額をほとんど使い果たしているために，施設側が拒否することが多い。もちろん介護付き有料老人ホーム（特定施設）では内部の介護支援専門員がケアプランをたてることになっているのに比べ，住宅型有料老人ホームでは外部の居宅支援事業所のケアマネジャーが，ケアプランを立てることができる。そこできちんとしたケアプランが作成されれば，必要な医療系サービスが入ることが可能である。しかし最近，ケアマネジャーとして看護師等の医療系の出身者が減り，介護福祉士など福祉系の出身者が増えているため，医療系のサービス導入に積極的でないこと

が多い。さらに入居者のケアプランを作成する居宅支援事業所が，その入居施設と特別な関係にあることもあり，いわば囲い込みで利用者の介護報酬の限度額ぎりぎりまで介護費用を使うようにプランニングすることが可能になっている。

昨年の九州医師会連合会の介護保険委員会で，熊本から象徴的な事例が提示された。熊本市内でいくつかの施設を調査したところ，在宅で過ごしている要介護者が介護保険における限度額の40%程度しか使っていないのに対して，有料老人ホームに入所している要介護者は95%以上使っている例がほとんどであるとの結果が判明した。そしてそのような施設では医療系のサービスがほとんど使われていないとのことであった。このままでは介護保険が雪だるま式に膨れ上がって崩壊の危機に瀕する可能性があることと，有料老人ホームでは十分な医療サービスが受けられない医療難民が増えてくる可能性について，強い問題提起がなされたのである。

宮崎でも同じような問題があちこちで指摘されている。宮崎では県民所得が低いため，基本料金が安く設定されている施設ほど入居者が多く，高い施設ほど入居者の確保に苦労していることが多い。基本料金の高低で，医療系サービスの利用率に差があるかどうかについては，まだ調査資料はない。どちらにしても私達医師が行う訪問診療は，訪問看護がなくては成り立たないことが多い。ケアマネジャーや有料老人ホームの経営者には，ぜひそのことを理解していただきたいと思う。

一方で，私達医師も注意していかなければならないことがある。これからは，独居老人や老老介護の世帯が多くなる中で，施設入所者が増えていかざるを得ない。そうすると訪問診療の対象者として，在宅の患者さんよりも施設の患者さんの割合が増えていくと予想される。その際，軽度の要介護者まで在宅時医学総合管理料を算定して訪問診療を行う危険性がある。患者さんから見れば，隣の部屋の人を訪問したついでに自分も診てもらえば，外来で待たずに済むし，タクシー代もかからないので，安易に頼まれる可能性がある。つい善意で診てあげたくなるが，あくまでも訪問診療は通院困難な，基本的には要介護３以上の方たちが対象であることを自覚しなければならない。

最近当県において，いくつかの有料老人ホームの入居者全員に対して訪問診療を行い，要介護度に関係なく在宅時医学総合管理料を算定している例が問題になった。施設と診療所の医師が結託すれば，高額な介護報酬や医療報酬が請求できる。都会では，施設側から医師に対して，施設の入居者を患者として紹介する代わりに，リベートを要求している例もあるという。在宅医療が営利追求の手段に使われているとすれば，これまで先駆的に尽力してこられた先人たちの苦労を台無しにしてしまう。そして医療保険や介護保険の制度破綻につながりかねない。私達が，医師としての社会的評価を維持し，誇りを失わないためにも，有料老人ホームで起きている一連の問題にしっかりと対処していくことが求められている。

新春随想　（その２）

新春の随想を募集いたしましたところ，多数のご投稿をいただきありがとうございました。１，２月号にわけて掲載させていただきます。

忘れ音（わすれね）

延岡市　長沼医院　長沼（ながぬま）弘三郎（こうざぶろう）

よく夢に見る。田起しの最中に連日特攻の編隊が開聞岳の横を通り過ぎ南を指して飛び去ってゆくのを。爾来（じらい）めぐる夏ごと南薩摩 頴娃の番所鼻をおとない，朝焼け・夕焼け・月映えの開聞岳と虚空と海原に向かって鎮魂の祈りを捧げている。

航空特攻戦死者は海軍で 2,531人，陸軍で 1,417人を数える。なかんずく 18歳～ 20歳の少年飛行兵が多く鹿屋・知覧・万世等の各基地から捨石となって沖縄に出撃し，往きて還らなかった。モノクロームの写真で特攻出撃を幻視する。ゥウーン ゥウーンとけたたましい空襲警報が解除されて間もなく，出撃機の風切で砂塵がまいあがり，油の臭いとあいまって，むせて目がしばつく。日の丸の小旗や桜の小枝が振られ色どられている。やがて機影は消え入るように遠ざかり機音も聞こえなくなる。何事もなかったように元の静寂が戻る。何度も同じ光景がくりかえされた。万世特攻平和祈念館では出撃直前に子犬を抱き，笑みを浮かべて写っている少年飛行兵達の１枚の写真に目が吸い寄せられる。直後に出撃，沖縄までの 600㎞を飛び全員散華した。“ 目ハ開ケタママ ”（特攻隊員用機械操縦マニュアル）で米軍の艦船に突入した瞬時は如何に凄まじい修羅場だったことか。耳をつんざく銃撃の音，切りさく爆発の衝撃音ですべての五感は雲散霧消して肉体も瞬時に気化していよう。

平安期 那智の海岸から“ 補陀落渡海 ”が始まった。 61歳を迎えた上人が生身のままで南方海上の観音浄土を目指し“ 椰の葉 ”を挿して船出する。四方に鳥居がつけられ“ 必死 ”のため戸は外から釘付けされ中から開けられないようにされていた。“ 桜の小枝 ”で見送られた“ 十死零生 ”の沖縄特攻も密室の片道飛行であり“ 南方往生 ”の思想が背景にあったのではと類推される。

特攻出撃者と同世代の叔父は昭和２年生で，昭和 19年４月 大刀洗陸軍飛行学校操縦科を出てマレー半島の基地で待機。補充機がなかったため沖縄には飛べなかった。また妻の長兄は同じ年の生まれで昭和 19年 10月 鹿児島海軍甲種飛行予科練習生で入隊。戦況悪化で課業停止になり特攻はのがれた。

自分は当時１歳半，身近な人達がこうした激しい戦いにまきこまれていたとは今も実感できない。その為いつも特攻の重い意味を自分につきつけている。－お前だったらどうしたかと－しかし恐怖がつのるできごとも写真・絵・文字になってしまうと絵空事に転化する。特攻も“ virtual reality ”で自分はガラス越の安全な場所にいる傍観者に過ぎない。

特攻の当事者は少なくなってきた。延岡では 18歳で昭和 20年５月 25日，６月 22日の２回鹿屋

基地から出撃し奇跡的に生き延びられた長浜敏行氏が健在である(著書 激烈に生きて)。経験をお聞きする機会を得たが“天国と地獄は紙一重，少しの運の差で自分は生き残ったよ”とボソッと話されたのが印象的だった。

人が一人亡くなると築きあげられた経験や知恵が何倍もの価値を伴って消え去ってしまう。特攻も同じで生き証人が既に85歳を越され，生存者が少なくなった今，その歴史的事実すら“忘れ音”のように響いてくるのも畢竟“むべなるかな”。

当院の電子カルテ

宮崎市　清武耳鼻咽喉科　牧(まき)　元(もと)　　宏(ひろし)

当院は８年前に開院しました。当時新規開業では電子カルテを採用するという機運が少し盛り上がっていたころでした。開院前勤務医をしていましたが，そこでオーダリングシステムの電子カルテを操作して慣れていたこともあって，当院も導入することにしました。導入前さまざまな業者(大手メーカーからベンチャー企業まで)から説明，デモ，見積もりをとって，ある大手メーカーのに決定しました。電子カルテを導入した私の個人的な意見ですが，

メリットは

１．オーダリングは医師がするので受付医事での間違いが減る。
２．受付医事に専門的知識が乏しい方でも採用できる。受付医事の負担(人数)を減らせる。
３．慣れると，非常に診察がスピードアップできる。
４．カルテ庫のスペースが減る。
５．会計で患者さんを待たせない。

デメリットは

１．機械なので突然フリーズして診察がストップして患者さんに迷惑をかける(幸い当院ではそういったことはほとんどなく，あっても１時間くらいで復旧しました)。
２．ご存知のとおり大手メーカーは数百万円という高額な値段がかかります(ベンチャーは比較的安価なものもあるようです)。もちろん維持費もかかります。
３．時期がくれば更新がある(また高額な請求)。

当院は平成24年10月末から電子カルテの更新作業を始めています(古い電子カルテはほぼ８年間使用しました)。そこでまた新規の電子カルテを更新購入しました。ここで厄介なのは電子カルテの内容，操作が意外と変更されているということです。更新にあたってデモ機を約１か月間平日土曜の診療後２，３時間また日曜も練習しました。どうして高額な値段を支払って時間も長期間にわたって拘束されるのかと愚痴も言いたくなります(できれば，そんな練習もいらず前の電子カルテからデータを吸い上げて，新しい電子カルテに移行した次の日からスムーズに操作できるようにしてほしいものです)。もちろん更新時他社の電子カルテと見積もり競合させましたが，過去８年間分のデータを他社の電子カルテに移行することはできませんので(仕様が異なるので)結局前のメーカーのを採用しました。もし他社のメーカーのにしたら前電子カルテを診察机の一方において患者さんのデータを

開いてそれを参照し，診察後に新しいメーカーの電子カルテに入力するという煩雑さがでてしまいます。

つらつらと書いてきて，これを読まれた方は負のイメージが強くなってしまうと思いますが，私が電子カルテを手放せないでいるのはそれなりにデメリット以上にメリットや便利さを感じているからだと思います。

以上が当院の電子カルテ事情と，８年間電子カルテを使用してきた率直な感想です。電子カルテをお考え(新規開業時の電子カルテ導入，紙カルテから電子カルテへの移行，電子カルテから紙カルテへの移行，電子カルテのメーカーの変更などさまざまなパターンがありますが)の先生方の参考になれば幸いです。

バラの栽培

高鍋町　大森内科医院　大森史彦（おおもりふみひこ）

今までいろいろな趣味に手を染めてきましたが，今一番力を注いでいるのはバラです。そのバラについて少々お付き合いください。

そもそもバラを育てるきっかけは，「バラの咲く庭のある家に住むのが夢だった」とつぶやいた妻の一言です。

我が家は診療所兼自宅の一軒家で，空いたスペースは駐車場にとられており，庭など望むべくもありません。そこでとりあえず，前から気になっていた鹿屋のバラ園に行ってみました。たくさんのバラの香りをかいでたいそう上機嫌になった妻は，帰りがけに売店で３種類のバラの苗を購入しました。それを自宅ベランダで鉢植えにして，育て始めたのが始まりです。

１年目はこの３鉢だけ。イギリスのデイビッド・オースチン社のイングリッシュローズです。春先には素人ながらなぜかうまく花がついて，次々とピンクの花を咲かせました。香り高いその大輪のバラを写真に撮り，しばらく妻のPCの背景になっていました。しかし，梅雨の長雨の時，病気が入り葉っぱが次々枯れ落ち，夏の盛りには暑さも加わりすっかり弱ってしまいました。肥料不足もあったのでしょう。あまりに悔しかったので，バラの栽培を解説した本を買ってきて，次の冬には８鉢植えてみました。自己流ながら勉強したおかげで，少し花付きもよくなりましたが，やはり梅雨と夏には葉が落ちたりして，秋の花は楽しめませんでした。

そうこうするうち，患者さんの中に大きなバラ園を造っている方がいることがわかり，診察の合間にアドバイスをいただいたり，鉢の状態を見ていただいたりしました。先輩の助言はありがたいもので，今年は雨対策，暑さ対策，肥料やりがうまくいき，春から秋までずっと花をつけています。今年はオールドローズとイングリッシュローズ，併せて14鉢を育てています。

毎日の水やり，定期的な肥料やり，剪定，冬の植え替えなど手間のかかることが多いですが，手をかければかけるほどそれに応えてくれるバラがいとおしく，今年はどんなバラを増やそうかと思案しています。

勤務医を辞して想う

宮崎市　江南まつもと整形外科　松元征徳（まつもとまさのり）

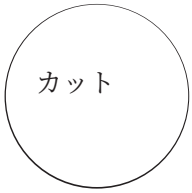
宮崎県教員の中堅クラスの退職の増加が止まらないと新聞に出ていた。成績重視，超過勤務，monster parents，鬱など教員の抱える問題点は多い。しかし，勤務医も同じことが重なって見えてくる。医師，教師，同じ先生と呼ばれる聖職が壊れかけてきたのは，最近ではないし，同じ内容の記事は庶民が忘れかけた頃に繰り返し報道されてきた。

小生が勤務医を辞める前に，東日本大震災が起きた。政治家の先生，放射能専門の教授先生，評論家先生，マスコミがmisleadした番組で，誰か正直に真摯に仕事をしてくれただろうか？その判断の誤りの責任をとった先生がいただろうか？

震災前の政策論点として，勤務医の激務や処遇，サボタージュが問題視され，民主党に大きく期待したが，子ども手当，授業料無償化とともになし崩しとなり，教育と同様，現在は全く議論されることもなくなったようだ。

20年以上，勤務医としてバイトしながら研究，借金留学をして医学博士となり，学会が奨励する専門医，指導医の資格を取得し，さらにその維持に努めてきた。患者がネット，情報誌で資格を持った医師を探して外来数が増え，手術の依頼数も増えた。訴訟と逮捕の報道の中，毎日手術してもそれに見合う報酬はなく，病院への貢献もドクターフィーとなることはない。これは，公立病院に勤務する外科医が投稿した朝刊の一部だが，悲しいくらい共感する自分がいた。

勤務医を辞して，勤務医の人権を考えるとき，最低でも，診療報酬の配分で専門医と研修医との手技点数の格差を明らかにし，貢献した成果と時間はホスピタルフィーではなくドクターフィーとすることが中堅以上の勤務医のモチベーションの維持には必要だろうし，医局制度と徒弟制度の再建に繋がると考える。小生には，日々診療で正確な診断と適切な治療に精進しながら，厳選した紹介状を書く事しかできないと寂しく想うこの頃である。



Midnight walking

日南市　松田整形外科医院　松田虎洋（まつだとらひろ）

最近真夜中のウオーキングを再開した。

昨年中盤から始めたのだがここ１か月ほどは特にしなくてもよかった。

蛍光ベストは着ない。部屋の中で歩くからだ。

以前は妻と歩くことも，いや歩かざるをえないこともあったが今は一緒に歩くことも少なくなった。本当にほっと胸を撫で下ろしている。いつまでも一緒に歩いていると精神的・体力的に共倒れになってしまう。

なので今は可能であればなるべく１人で歩くようにしている。

私が最初に歩くこともあれば，妻が先に始め

ることもあり，なるべく互いにしゃべらないで済むように相手に気付かれないようにスタートする。

私はいつも妻に歩かれないよう限界までいくつもりで始めるが，そんな気合いもすぐに眠いわ，フラフラするわで途中で倒れそうになったり，頭の中がいつ終えようかとそんなことばかり考えるようになる。

しかしそんなことも数か月続けると多少目をつむっても安定した歩きができるようになった。最初妻が頭を軽く横に倒し目をつむりながらも完璧なバランスで歩いているのを見たときそのほとばしる気合に圧倒されたものだった。

問題はその終え方である。

自分は少し緊張が高まりすぎる傾向がある。そのまさに終える直前，前腕はふるえ，背筋がうなりをあげ，着陸直前の飛行機が急激に横揺れをおこしてしまったかのような状態になってしまう。

妻は上手い。思いっきりがいい。

私はそのあまりの下手さにウオーキングの延長である…。

この原稿の草案もそんな夜中のまさに限界を越え意識が朦朧とし頭の中が真っ白になっている状態で浮かんだ，というかそのことしか考えられなかった。

今ウオーキング中の私の腕の中には夜泣きの始まった生後６か月になる息子がいて，妻の横には生後６か月になる娘がいる。

息子は少し寝付いたようだ。ウオーキングを終える時がきた。

今からベッドにおろさなければならない。

緊張が高まる…。

今こそ，井伊直弼の再来を望む

宮崎市　山村内科　山村善教（やまむらよしのり）

昨年12月の総選挙告示前に，昭和38年に放映されたＮＨＫの第１回大河ドラマの原作である舟橋聖一氏の代表作『花の生涯』を読んで，安政７年（1860年）３月３日の朝，桜田門外の変で暗殺された井伊直弼大老についての認識を新たにした。

以前，私が好きな小説家諸田玲子さんの第26回新田次郎文学賞受賞作『奸婦にあらず』を読んだことがある。その小説には，第11代彦根藩主井伊直中の側室腹の14男として生まれた直弼が，『埋木舎』で将来のあてもなく淡々と暮らしている時に，魅力溢れる女間者村山たかと知り合って，自然な成り行きとして理ない仲になるが，ミイラ盗りがミイラになるがごとく，たかは直弼のためには命を捨ててもよいと思うほどに惚れ込んで，彼が暗殺されるまで，身の危険を顧みずに密偵として働き，尽くし抜いたことが綴られていた。

『花の生涯』では，たかを巡って一時的に三角関係になった長野主膳との交流なども描き込まれているが，直弼が自らの命を賭して，尊皇攘夷派の反対を押し切り，勅許を得ることなく，日米修好通商条約を締結して，その過程においてやむなく安政の大獄も断行し，結果的には暗殺されたのである。もともと政治向きのことは嫌いで，好んでなった訳ではない彦根藩主，そして徳川幕府の大老として迎えられ，国家を護り，国民を守るためには開国しかないと信じて，信念を貫き通した直弼。それ故に，日本は他のアジア諸国のように列強から侵略を受けること

なく，植民地化されずにすんだと考えられる。まさに未来を見通した英断を下すことのできる叡智の塊のような，日本の守護神とも言える人物だったにも拘わらず，売国奴呼ばわりをされたこともある直弼。舟橋聖一氏が小説という形で見事に直弼の人物像を描き出し，その功績を再評価したのである。

今の日本を翻ってみるに，果して井伊直弼のように確固たる信念を持って，命を賭して国を護り，国民を守る気概をお持ちの政治家は幾人おられるのか，甚だ心許ないと憂えているのは私だけであろうか。

昨年末の総選挙で政府の体制は大きな変化を遂げたが，我が国を取り巻く環境は予断を許さない状況であり，早急なる救国の体制作りを願ってやまない。

新春随想

延岡市　あたご整形外科　佐藤（さとう）信博（のぶひろ）

昨年11月24日に海外に住む長男が東京で結婚式を挙げました。

初めての嫁取りは嬉しくもあり，緊張もありの数か月でした。最近の結婚事情は昔と違い，本人達の自由な発想で多くの事が運ばれるようです。仲人なし，会社の上司のスピーチもなしという具合です。

私どもの職場でも，仲人を立てることが殆どなくなりました。必然的に仲人を頼まれることもなくなり，気が楽になった反面，寂しい気もいたします。つい先日，ネットで知り合い交際期間も短いまま『昨日，結婚式を両家の家族だけで挙げてきました』と男性職員が突然報告してきた事例がありました。

さて，息子が付き合い始めた彼女を紹介してくれたのはSkypeによるものでした。当時ロンドンに勤務していた息子は気軽にスカイプしてきたのですが，将来息子の嫁になるかもしれない女性とのパソコン画面での初対面に，Tシャツ姿の私は「もう少し良い格好をしておけば」と思わず悔やみました。その後は，二人の数か月ごとの帰国に合わせて御両親への挨拶，結納と事は順調に運びました。一方，私は結納に至るまでに数冊の手引き書を熟読したにもかかわらず，先方の玄関先では振袖姿の婚約者を他人と見あやまったり，挨拶や口上もしどろもどろになり，汗だくの苦闘でした。それから7か月後，シャトーレストランでの結婚式と披露宴は，素晴らしい料理と息子達の考えた演出で至福のものでした。当日の明け方まで考えが纏らなかった「新郎父挨拶」も不思議とリラックスし，すらすら口を衝いて出てきました。「終わり良ければ全て良し」。

ところで，私自身はサンホテル・フェニックス国際会議場で結婚式を行いました。国際線客室乗務員をしていた家内は式の前日まで宮崎に来ることができず，全てを私がプロデュースしました。私どもの両親の結婚式とは全く違うスタイルで…。

息子夫婦に末永く幸せな結婚生活を送って欲しいと願うにつれ，亡き父へ思いがつのり，心で合掌いたしました。

ある日（その六）

宮崎市　小野小児科医院　小野武己（おのたけみ）

Aさん，久しぶりの便りです。お変わりありませんか。

無一文で小児科医院を開業して，33年間必死になって突っ走ってきたけど，病院運営は決して楽にはなってないが，その分，四人の子供たちが一人前になってくれたのが，親としての務めは何とか果たしたと言えるかもしれません。長男は「病院は継がないよ」とけんもほろろで，東北の病院に行ってしまった。次男と嫁さんは小児科なので「帰ってこようか」と言ってくれるが，まだ「10年は頑張るから，それからでよい」と答えたのだが，内心は嬉しかった。本当は長男も小児科せずとも帰ってきて欲しい願望は強いけど…。医者になった娘は嫁に行ってしまうので，そこまでかなぁ。

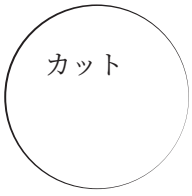
もう一年になったが，突発性腸管破裂で緊急手術して一か月入院しました。四時間にわたる手術を終え目覚めたとき，枕元に子供たちが揃っていて，「良かった，良かった」と涙を流していました。長男も東北から駆けつけて来たが「おお親父，生きていたか」と一言残してとんぼ返りで戻っていってしまった。本当は情が深い子なのだが，照れくさかったんだろう。長女は一か月の入院中毎日朝から晩まで付き添ってくれ献身的に面倒を見てくれました。

晴れて退院日の朝回診の時，僕は主治医の手を握って「生かしてくれて，ありがとう，ありがとう」と泣きました。涙があふれて仕方なかった。僕はかつて父と母が逝った時と自分の子供を失くした時以外泣いた記憶はなかったのだが，入院以来，僕は何かにつけてはすぐ涙が出るようになってしまいました。決して自分一人で生きているんではない，沢山の人々に支えられて生きているんだということを痛感したのです。長男のたった一言「親父，生きていたか」の重みが分った気がしたのです。

Aさん，当たり前のように結婚し，当たり前のように子供が生まれ，当たり前のように子供と家のことは女房に任せきりで，開業生活を突っ走ってきたけど，自分を取り巻くすべての人々に感謝しなくてはならないということなのですね。これらが僕の最近の心情です。

Aさん，開業以来，毎年，診察室の窓越しに見える，軒下にあるお家で，今年も二組のツバメさんが子育てをして巣立っていきました。なんだかホッとしました。

おやすみなさい。今度はいつお便りできるでしょうか。



思い出の中で

都城市　山田医院　山田（やまだ）　孝俊（たかとし）

エメラルド秘めたる思い夏の海

入梅にけだかく響く綾の椹

霧島の峰に輝く桜かな

木枯しかひとりさみしく暖をとり

落葉に人生の意味悟りしか

亡き父にまた教えられ盆休み

トンボむれ初陣かざる球を追う

新春瑞想　還って参りました

日向市　鮫島病院　鮫島（さめしま）　哲也（てつや）

のっけからの打ち明け話になりますが，私は昨年の10月８日に自分の不注意から交通事故を起し宮崎大学附属病院の救急救命センターへ運ばれて何とか一命を取り留めました。

所で，長いあいだ疑念を保持しておりますとヒョンな事から真相が見えて来るものでして，事故の傷病が癒えて退院が間近くなった頃にＮＨＫのBS放送をぼんやりと見ていて“エノケンのちゃっきり金太”に「なるほど」と思い当たった事がありました。私が小学生時代に転校を繰り返し，三年生の夏に熊谷から神戸に舞い戻って来た際，ご近所の親御さん方から今日で言うネグレクトを受けて「普通のやんちゃ坊主に過ぎないのになぜ？」と思っていたのですが，明治維新で薩長連合軍が錦の御旗を掲げ江戸入りする場面を見てハタと気付いたのです。明治から昭和の初めに掛けての関西の人々が皇室と首都を東京へ移された事に対し怨念の様な物を抱いている所へ関東方面から鹿児島姓の人間がやってきた。それが受け容れ難かった様でした。

当時はラジオさえ身近に見当たらぬ時代ですから，どの家からも遊びに誘われぬ少年は秋の夜長は独り本を読んで過ごす以外にない。そのうち私は読書に耽溺して睡眠不足の果てに小児ノイローゼを発症し強迫観念に捉われました。「死後の魂は何処へ行くのだろう？」との果てしない思いを巡らせてまんじりともしない。後に「特攻も辞せず」と予科練を志願した程ですから死を恐れていたのではない。特に戦後は野球やジャズに明け暮れて生死の問題などは完全に放念して

おりました。所が，医師となり日常的に人の死を目の当たりにする様になって再び死後の魂の行方が心に掛かる様になり，当時の毎日新聞で武者小路実篤が「年を取るにつれて死ぬ事が怖くなくなった」と語るのを読んで「そうかも知れないな」と合点したのですが，三児の父親としては魂の行方とは別に「今は死ぬわけにはいかぬ」と改めて思ったものでした。

古来東洋には輪廻思想が有り，一旦生命を得た者は六道を生々流転して様々の苦を受けねばならぬとされ，お釈迦様は「輪廻の輪から外れるためには正しい修行をして阿羅漢果に至り涅槃に入るように」と説かれました。

仏教そのものは華麗な哲学に裏付けられており，阿含経以後にも法華経、華厳経，その他勝れた経典が編纂され上座部，禅，大乗，密教に天才的な祖師が現れ，それぞれの活動をなさって今日の展開の末，浅学の私などには整理出来ぬ思想体系が構築されております。

私自身の志向の故もあるのでしょう，精神科の医者として宗教全般に興味が向きますから旧約聖書をも手に取りましたが，此方の神様は契約を守らぬ異教徒には苛酷な処置をお取りになる。キリスト教も「神は愛なり」とおっしゃるがシスティナ礼拝堂の天井画には“最後の審判”なる不信者が恐れをなすような情景が描かれており，ダンテの神曲にも私の様な異教の者は良くて煉獄の試練が待っている。こうですと魂の預け所を何処へ求めたらよいか？が判らなくなったのですが，65歳頃から自ずと心が平穏になりまして「やはり武者小路さんの言った事は本当だ」と思う様になりました。当時ラジオの深夜放送で“心の時代”に耳を傾けておりますと名は何方（どなた）か確かめなかったのですが「宇宙そのものが大きな生命体だから，個々の生命もその中に包摂されるのだと考えれば死は恐ろしくない」と話すのを聞いて大いに納得した事があります。

私は既に平均寿命を過ぎ，後顧の憂いの無い境遇にあるのですが「死の間際に立った時に恐怖に戦（おのの）くのではないか」が唯一の懸念でした。所が今回，入院直後の苦痛の中で「寂滅為楽の境地も悪くないな」との愉悦を覚え，少年の頃から胸の奥底に抱いていた永年の疑念が晴れましたため，心安らいであの世の入り口から現世に還って参りました。

老年のゴルフと運動

西都市　西都病院　友成久雄（ともなりひさお）

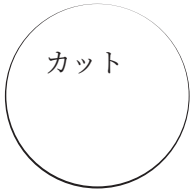
先日，職場のコンペで2か月ぶりにラウンドした。まだ12月初旬というのに真冬の寒さだった。ほぼ晴れてはいたが，風が強いからコンディションとしてはかなり厳しい。無意識に手や腕に力が入り，ミスショットが頻発する。ドライバーでチョロが出るし，アプローチのミスも多いから，当然スコアはまとまらない。９か月ぶりのラウンドだった前回より悪く，ビギナーに近いスコアだ。だが，時にはいいショットも出るから，スコアの内容は違うと，ポジティブに考えた。

昨年，私はほとんどのクラブを買い換えた。

飛距離が落ちただけでなく，どのクラブも重たくて振りが鈍くなったと，自分でも感じたからだ。60歳も過ぎて10年以上も経つと，年齢的に合わなくなるのだ。２か月前，左手足の脱力感を感じて神経内科のクリニックに受診したとき，久しぶりに握力を計ったが，右手が30に落ちていていささか驚いた。やはり歳かなと思う。シニア向けの新しいクラブはやはり軽くて振りやすいと感じた。しかし練習もしないからまだ慣れていないのだが，先日のラウンドでは７番アイアンだけが非常にいい当たりをした。120ヤード辺りからオンしたり，バンカーでクリーンヒットしたり。独り活躍してくれた。私は嬉しくなってこのクラブのヘッドに頬ずりをした。キャディが笑っていたが。数年前からビギナーのようなスコアーが出るようになって，「もう自分のゴルフも終末期じゃないかな」と，時々思ったりした。しかし，「まだ捨てたものじゃないな」，「今の目標のダボペースを越えて，100も不可能じゃないぞ」などと，希望が出てきた。

ところで，私は以前から運動不足を自覚し，反省もしていながら，一向に改善していない。卓球が私のもっとも得意なスポーツなのだが，今の職場ではできない。青島の方のホテルに絨毯を敷き詰めたデラックスな貸し卓球場がある。９月頃妻と行った時，「週１回はやることにしようや」と話した。しかし２週ぐらいで中断した。散歩もこの数年ほとんどやらなくなっているから，平常，運動はゼロに近い。

体力が加齢とともに低下していくのは仕方がないけれども，引きこもりや運動不足のために低下してしまうのは惜しい気がする。１か月の鬱の後，私は体力の低下を自覚して，歩きを主としたリハビリをする。私が最近気づいたのは，ゴルフの練習が全身運動だということである。ボールを打つときは両脚を踏んばるから，下半身も相当に使っているわけだ。私は60代からは，打ちっ放しにはラウンドの直前に１回調整の目的で行くだけだった。この数年はラウンド数と同じく，年に数回と激減していた。来年からは運動の目的で１週に１，２回行くようにしようと思う。打ちっ放しは一人でやれるからいい。一方，ラウンドの方は運動量は小さくて，気分転換や遊びの効果が大きいから，老人に向いたスポーツと言われるのだろう。こちらは月１回以上を目指したい。このような運動の計画を新年の「計」にしようと思う。運動はアンチエイジングにも効果があるだろうから，これだけは少し頑張ってやらないといけない。

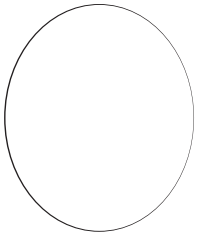


エコー・リレー

（450回）
（南から北へ北から南へ）

ウルトラマンタロウと懐かしい風景

宮崎市　藤木病院　藤木　啓

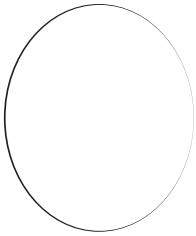


昨年10月，ある音楽イベントの打ち上げの席で，東京からDJで来ていた友人と話をしていた。彼は日本中の仮面ライダーのロケ地を巡り，番組のシーンと同じシチュエーションで写真に納めるのを趣味としている。今回の彼の目的はDJ以外の時間は仮面ライダーのロケ地であるえびの高原に行くことで，それをネタに子供の頃に見た仮面ライダーやウルトラマンタロウ，マッハバロンなどの宮崎ロケの話で盛り上がった。家に帰ってDVDを見直してみると，ウルトラマンタロウの宮崎ロケは12，13話の2話にわたって行われており，12話はえびの高原，13話は青島から堀切峠，橘通周辺の宮崎市内が舞台であった。えびの高原のロケでは，子供の頃に大好きだった今は無きえびの高原ホテルのロビーにあった暖炉が映り，宮崎市内のロケでは，今のボンベルタ橘がまだ橘百貨店だった頃に屋上にあった観覧車，そして当時の堀切峠の佇まいや美しかった旧宮崎大橋などの映像が懐かしい記憶をよみがえらせる。マッハバロンでは，2話が都井岬からサボテン公園，そしてこどものくにが舞台，22話はえびの高原が舞台であった。サボテン公園も今は閉園されているし，こどものくににももうラクダはいなくなったが，このDVDの中には当時の空気が一杯詰まっていた。今はすっかり様変わりしてしまった宮崎の街ではあるが，このDVDの中には，昔の懐かしい記憶が映像として記録されており，幼き日々を思い出した夜でした。

〔次回は，日向市の高橋 稔之先生にお願いします〕

ゴルフ侍

日南市　かわにし脳神経外科　川西昭人



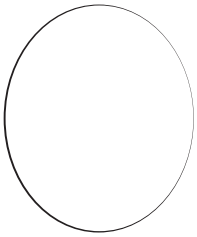
特に書く事もないので今楽しみにしているTV番組を紹介する。毎週日曜日昼12時からBSジャパンで放送されている。民放での放送ではないので知らない方も多いと思う。ゴルフをする者にとってハンディ9以下であるシングルプレーヤーは目標であり憧れである。この番組はハンディが1とか2というトップアマ（ゴルフ侍と称する）がプロと9ホールのマッチプレーを行い勝負を決するという内容だ。ゴルフコースはゴルフ侍のホームコースで行われる。侍はコースレイアウト，風，芝目を熟知しているのに対しプロは初めてのコースとなり侍に有利に作用する。プロも50歳以上のシニアプロなので体力，技術に少し衰えがある。とはいえ勝負はプロが5回勝つ時に侍が1回勝つかどうかだ。年老いてもプロである。ゴルフ侍になる苦労話や使っているゴルフクラブ，練習方法も紹介される。プロによるワンポイントゴルフレッスンもあり盛りだくさんだ。最近プロのゴルフ中継はあまりおもしろくなく見る機会も減ったが，この番組は毎週かかさず見ている。ゴルフをする先生にはおすすめである。ゴルフをしない先生には興味がない話で申し分けない。

ところで侍ブルー，侍ジャパンなど最近侍という言葉をよく耳にする。3月にはワールドベースボールクラシックに侍ジャパンが登場する。負けたら腹を切るぐらいの覚悟で試合に臨んで欲しいものだ。

〔次回は，国富町の岡原 一徳先生にお願いします〕

宮崎大学医学部だより

附属病院薬剤部



有森（ありもり） 和彦（かずひこ） 教授

薬剤部は，附属病院の再開発に伴い，昨年，旧外来棟一階に完全リニューアルされました。現在，この新たな環境におきまして，大学病院における薬剤部門，そして宮崎県下の薬学分野における立場を自覚し，その職責を果たすため，池ノ上克病院長先生のご指導の下，毎日努力を絶やさぬよう邁進いたしております。

今日，医療施設における薬剤師の職能の方向性は，より臨床へと向かい，その環境は大きく発展を遂げ，昨年４月の診療報酬改定におきましては「病棟薬剤業務実施加算」が新設されました。既に医師会の先生方におかれましてはご存じのことと思いますが，これは，病棟において薬剤師が以下の内容の薬物療法の有効性，安全性に資する薬剤関連業務を実施することにより，週１回入院基本料に加算されるものであります。

病棟薬剤業務実施加算算定要件業務

１．過去の投薬・注射及び副作用発現状況の聴取・把握
２．持参薬の確認，入院時の服薬計画の提案
３．内服・注射薬の相互作用の投与前の確認
４．ハイリスク薬投与前の患者またはその家族への説明
５．流量・投与量の計算・確認
６．医薬品情報の収集および医療従事者への周知
７．「医薬品緊急安全性情報」等の文書による提供

当施設におきましても，昨年10月より，賀本敏行副病院長先生をはじめ多くの先生方のご尽力とご理解によりまして，各フロアーに病棟薬剤師室を設置していただき，上記「病棟薬剤業務」を実施しております。この「病棟薬剤業務」により，我々薬剤師が患者さんにとって今まで以上に身近な存在となり，薬物療法の有効性・安全性の向上に貢献するとともに，まだまだ十分ではありませんが，医師の先生方や看護師さん方から好評をいただくに至っております。今後，この「病棟薬剤業務」が軌道にのりましたら，従来からの「薬剤管理指導」を拡大し，医師の先生方のご理解とご協力を得つつ，チーム医療における薬剤師の能力を発揮し，その職責を十分に果たしたいと考えております。

また，当施設は，大学病院でありますことから，診療に加えまして教育がその業務の一つとなります。現在，医学部では４年，５年時に「薬剤処方学」の講義とポリクリを，看護学科では薬理学を担当させていただいております。また，他大学の薬学生の長期実務実習も受け入れており，これら医療人の育成に貢献するとともに，チーム医療のコアな三職種の教育に携わることにより，我々自らも，チーム医療における薬剤師の責任を自覚し，日常の臨床業務にフィードバックするように努めております。

さらに，大学病院の薬剤部として果たさなければならない業務として研究があります。現在，臨床からテーマを定め，薬剤学，薬物動態学，薬理学および分子生物学的手法により，当施設の理念でもあります「先端医療の開発と提供」に少しでも沿えるように，歩みは遅いながらも志の灯を絶やさぬよう努力しております。

以上のように，薬剤部につきまして現況を書きましたが，これからも，当施設内にとどまらず，宮崎県下の薬学分野におきまして貢献できるよう精進していく所存でございます。医師会の先生方におかれましては，それぞれのご施設の薬剤部門に関しまして，大変お世話になっていることと存じます。当薬剤部ともども，今後とも，どうぞご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。　　（副薬剤部長　奥村（おくむら） 学（まなぶ））

平成24年1月～12月までの
叙位・叙勲及び表彰・祝賀受賞会員

叙勲・祝賀

【延岡市医師会】

瑞宝双光章(学校保健功労)（H 24.11.3）　萩原武雄

【西都市・西児湯医師会】

瑞宝双光章(保健衛生功労)（H 24.11.3）　中林永一

表彰・祝賀

【宮崎市郡医師会】

産科医療功労により厚生労働大臣表彰(H 24.1 .27)　大渕達郎

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰(H 24.3 .14)　近間尚

医療功労により県知事表彰(H 24.6 .23)　田中俊正

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰(H 24.10.11)　石川恵美

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰(H 24.10.26)　白尾一定

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰(H 24.10.26)　中村純五

精神保健福祉事業功労により県知事表彰(H 24.10.26)　古郷博

公衆衛生事業功労により県知事表彰(H 24.12.18)　井ノ口寛

【都城市北諸県郡医師会】

公衆衛生事業功労により県知事表彰(H 24.2 .8）　隅清賢

医療功労により県知事表彰(H 24.6 .23)　小山田義貴

救急医療功労により県知事表彰(H 24.9 .3）　夏田康則

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰(H 24.11.8）　中山展男

【延岡市医師会】

医療功労により県知事表彰(H 24.6 .23)　日高隆徳

救急医療功労により県知事表彰(H 24.9 .3）　木下義美

救急医療功労により厚生労働大臣表彰(H 24.9 .10)　赤須巖

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰(H 24.10.26)　富田精一郎

精神保健福祉事業功労により県知事表彰(H 24.10.26)　吉田建世

公衆衛生事業功労により県知事表彰(H 24.12.18)　泉公美

【日向市東臼杵郡医師会】

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰(H 24.3 .14)	三ヶ尻　榮　一
公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰(H 24.3 .14)	古　賀　正　広
医療功労により県知事表彰(H 24.6 .23)	中　島　清　美
救急医療功労により県知事表彰(H 24.9 .3)	千代反田　　晋
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰(H 24.10.11)	金　丸　吉　昌
精神保健福祉事業功労により県知事表彰(H 24.10.26)	瀧　井　　修

【児湯医師会】

医療功労により県知事表彰(H 24.6 .23)	髙　嶋　　章

【西都市・西児湯医師会】

第38回医療功労賞(読売新聞社主催)(H 24.2 .6)	相　澤　　潔
公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰(H 24.3 .14)	相　澤　　潔
九州管区警察協力功労賞(H 24.7 .13)	大　塚　直　純

【南那珂医師会】

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰(H 24.3 .14)	赤　池　義　昭
公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰(H 24.3 .14)	戸　倉　　修
精神保健福祉事業功労により県知事表彰(H 24.10.26)	谷　口　　浩
精神保健福祉事業功労により県知事表彰(H 24.10.26)	藤　元　秀一郎

【西諸医師会】

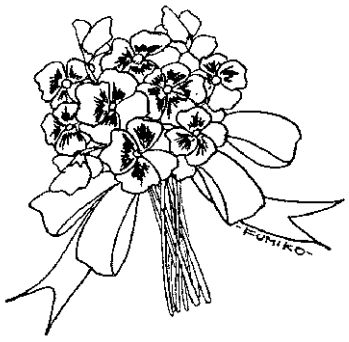
医療功労により県知事表彰(H 24.6 .23)	大　森　臣　道

【西臼杵郡医師会】

精神保健福祉事業功労により県知事表彰(H 24.10.26)	植　松　昌　俊

【宮崎大学医学部医師会】

科学技術分野の文部科学大臣科学技術賞(H 24.4 .9)	北　村　和　雄
救急医療功労により県知事表彰(H 24.9 .3)	宮崎大学医学部 附　属　病　院



宮崎県感染症発生動向 ～12月～

平成24年12月3日～平成24年12月30日（第49週～52週）

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：結核26例が報告された。保健所別報告数を【図1】に示した。患者が18例，疑似症患者が3例，無症状病原体保有者が5例で，患者は肺結核が13例，その他の結核（リンパ節類上皮肉芽腫，結核性胸膜炎等）が5例であった【表1】。男性14例，女性12例で，年齢別報告数を【表2】に示した。

3類：報告なし。

4類：○E型肝炎：日南保健所管内で1例報告された。40歳代の男性で発熱，全身倦怠感，食欲不振，黄疸，肝機能異常がみられた。

○つつが虫病：27例が報告された。保健所別報告数を【図2】，年齢別報告数を【表3】に示した。男性14例，女性13例で，主な症状として，頭痛，発熱，刺し口，リンパ節腫脹，発しんなどがみられた。

○レジオネラ症：宮崎市保健所管内で1例報告された。50歳代の男性で肺炎型。発熱，咳嗽，呼吸困難，肺炎，多臓器不全がみられた。

5類：○アメーバ赤痢：宮崎市保健所管内で1例報告された。60歳代の男性で腸管及び腸管外アメーバ症。右季肋部痛，肝膿瘍，大腸粘膜異常がみられた。

○ウイルス性肝炎：宮崎市保健所管内で2例報告された。

・20歳代の男性でB型。全身倦怠感，嘔吐，褐色尿，肝機能異常，黄疸がみられた。

・50歳代の男性でB型。全身倦怠感，肝機能異常，黄疸がみられた。

○急性脳炎：宮崎市保健所管内で1例報告された。患者は1か月で原因病原体はロタウイルス。発熱，嘔吐，痙攣，意識障害がみられた。

○後天性免疫不全症候群：宮崎市保健所管内で1例報告された。20歳代の男性で無症候性キャリア。感染経路は異性間性的接触。

○ジアルジア症：宮崎市保健所管内で1例報告された。20歳代の女性で下痢がみられた。海外渡航歴有り。

○梅毒：宮崎市保健所管内で1例報告された。20歳代の女性で早期顕症梅毒Ⅱ期。鼠径部リンパ節腫脹（無痛性），扁平コンジローマがみられた。感染経路は異性間性的接触。

○破傷風：宮崎市保健所管内で1例報告された。60歳代の男性で開口障害，嚥下障害，発語障害がみられた。打撲擦過傷あり。

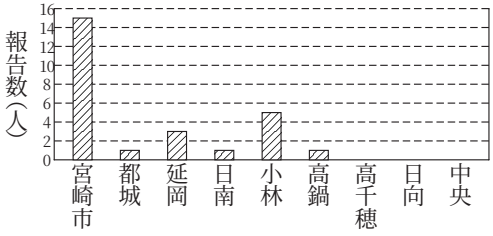


図1　保健所別報告数（結核）

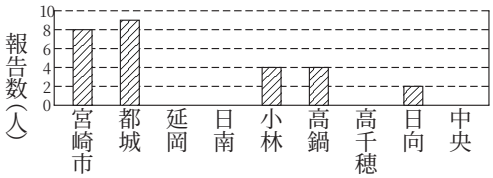


図2　保健所別報告数（つつが虫病）

表1　結核の病型及び報告数（人）

肺結核	13
その他の結核	5
無症状病原体保有者	5
疑似症患者	3

表2　結核の年齢別報告数（人）

0歳	1～9歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	5	1	3	3	3	5	3

表3　つつが虫病の年齢別報告数（人）

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	2	2	4	5	7	5	1

■病原体検出情報（微生物部）

検出病原体		件	臨床症状等
細菌	腸管出血性大腸菌（O 103：HUT VT 1）	1	・無症状
	腸管出血性大腸菌（O 111：HUT VT 1）	5	・下痢，軟便　　・無症状
	腸管出血性大腸菌（O 26：H 2 VT 1）	1	
	毒素原性大腸菌（O 6：H 16 STh LT）	1	
	腸管凝集付着性大腸菌（O 86a：HNM aggR）	1	
	Salmonella Fluntern（O 18：b：1,5）	1	
	Salmonella Montevideo（O 7：g,m,s：-）	1	
ウイルス	ノロウイルスGⅡ型	2	・発熱，下痢，嘔吐 等　　・感染性胃腸炎
	アデノウイルス2型	1	・アデノウイルス感染，肺炎，40℃，上気道炎，下気道炎
	インフルエンザウイルスAH 3	6	・インフルエンザ，39℃　・インフルエンザ，39.5℃，関節痛 等
	コクサッキーウイルスB4型	1	・手足口病，多形滲出性紅斑，37.7℃，下気道炎，水疱

■５類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は5,838人(定点あたり172.3)で，前月比92%と減少した。また，例年と比べると83%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと水痘で，減少した主な疾患は，手足口病と咽頭結膜熱であった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱，感染性胃腸炎，Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

インフルエンザの報告数は289人(4.9)で前月の約70倍，例年の約１割であった。日南(46.0)保健所からの報告が多く，年齢別では５歳以下が全体の27%，６～９歳が23%，10～14歳が22%，15～19歳が３%，20歳以上が25%を占めた。

水痘の報告数は623人(17.3)で前月の約1.6倍，例年の約1.2倍であった。延岡(32.3)，都城(20.3)保健所からの報告が多く，年齢別では１～３歳が全体の約７割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は3,819人(106.1)で前月の約９割，例年の約1.5倍であった。小林(170.0)，延岡(134.8)保健所からの報告が多く，年齢別では１～３歳が全体の約４割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は157人(4.4)で前月の約７割，例年の約2.4倍であった。日南(12.0)，延岡(8.8)保健所からの報告が多く，年齢別では６か月～２歳が全体の約半数を占めた。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は475人(13.2)で前月の約1.1倍，例年の約1.5倍であった。延岡(26.3)，中央(23.0)保健所からの報告が多く，年齢別では３～６歳が全体の約６割を占めた。

手足口病の報告数は69人(1.9)で前月の約２割，例年の約1.2倍であった。高千穂(5.0)，宮崎市(4.0)保健所からの報告が多く，年齢別では６か月～２歳が全体の約８割を占めた。

前月との比較

	12月		11月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	289	4.9	4	0.1	
RSウイルス感染症	92	2.6	124	3.4	
咽頭結膜熱	157	4.4	241	6.7	★
※溶レン菌咽頭炎	475	13.2	421	11.7	★
感染性胃腸炎	3,819	106.1	4,279	118.9	★
水痘	623	17.3	391	10.9	★
手足口病	69	1.9	331	9.2	★
伝染性紅斑	6	0.2	2	0.1	
突発性発しん	132	3.7	183	5.1	
百日咳	2	0.1	0	0.0	
ヘルパンギーナ	3	0.1	23	0.6	
流行性耳下腺炎	75	2.1	110	3.1	
急性出血性結膜炎	1	0.2	1	0.2	
流行性角結膜炎	91	15.2	93	15.5	★
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	3	0.4	
マイコプラズマ肺炎	4	0.6	8	1.1	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	

★　例年同時期(過去３年の平均)より報告数が多い
※　Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向〈12月〉

□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は26人(2.0)で，前月比72%と減少した。また，昨年12月(3.1)の約７割であった。

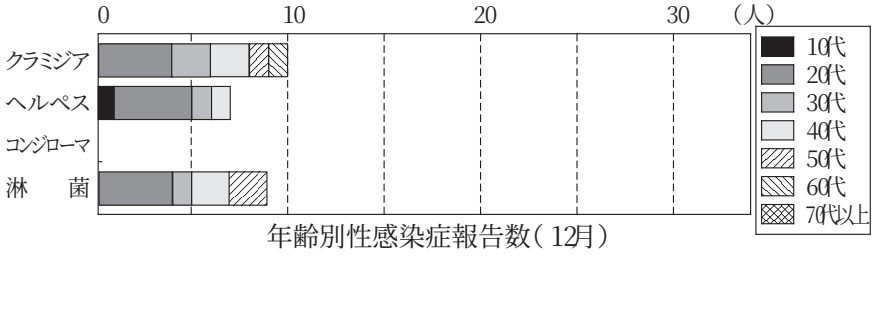
《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数10人(0.77)で，前月及び前年の約４割であった。20歳代が全体の約４割を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数７人(0.54)で，前月の約1.2倍，前年の約1.4倍であった。20歳代が全体の約６割を占めた。

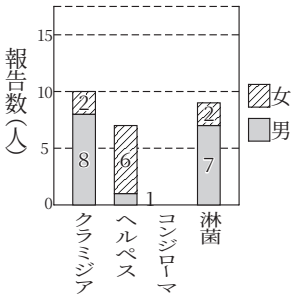
○尖圭コンジローマ：報告はなかった。

○淋菌感染症：報告数９人(0.69)で，前月の約1.8倍，前年の約９割であった。20歳代が全体の約４割を占めた。



年齢別性感染症報告数(12月)

男女別性感染症報告数



□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：７

定点医療機関からの報告総数は55人(7.9)で前月比120%と増加した。また，昨年12月(4.1)の約1.9倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数54人(7.7)で，前月の約1.3倍，前年の約2.2倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数１人(0.14)で，前月及び前年と同程度であった。70歳以上の報告であった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

宮崎市郡医師会

オンライン請求の義務化は撤廃されましたが，電子媒体による請求は滲透普及してきました。便利になりましたが，予想通り診療報酬請求に関して保険者が突合や縦覧・横覧審査により数か月前までさかのぼって何か月分かをまとめて再審査請求してくる事例が増えつつあります。医療を提供する側にとってはやはり不利です。レセプトは毎月提出しますから過去にさかのぼっての修正は，一旦レセプトを返してもらわなければなりません。修正請求は合計額の修正になりますから決定するまで当該月分の診療費を一時的に返却することになります。面倒でもあり，医療側からの再請求は非常に少ない状況です。多くは病名漏れやコメント漏れです。うっかりミス・単純ミスであり，一般商取引なら請求額やおつりのミスに相当します。当日ならお互いにペナルティもなく容易に修正可能です。実際には店側にとってミスは信用問題になり，泣き寝入りすることが多いと聞きます。

ご存じの方が多いと思いますが，レセプトの電子チェックソフトが安価に普及しています。これを利用すれば減額査定される事例がグッと少なくなります。本来は国が作って保険者側と医療する側に配布してくれれば最良なんですが，無理でしょうね。

ところで年末の選挙で民主党の自滅はマニフェスト否定の政策実行と内輪もめで当然でしょうが，この３年間改革らしい改革をしなかった自民党が政権をとり，また振りだしに戻ってしまいました。人からコンクリートへの回帰です。安倍新総理は愛すべき政治家で期待したいところですが，経済財政諮問会議の復活は悪夢を思い出させます。後期高齢者医療制度も特定健診・保健指導制度もまだ残っており，2025年までの医療費削減も法的に完全に否定されていません。消費税損税問題もまだ先行きが見えず，医師会も問題山積みです。

（済陽　英道）

◇◇　　◇◇　　◇◇　　◇◇　　◇◇

都城市北諸県郡医師会

当医師会の最重要課題は医師会病院・救急医療センター・健康サービスセンター３施設新築移転の医療ゾーン整備事業である。現在実施設計を終了し，都城市・三股町と工事入札方法の検討を重ね，昨年12月に入札公告を行い，入札決定後本年３月から着工予定である。これから医療機器などの機種選定やスムーズな移転を行うための準備など大変な課題がたくさんあるが，さらに気を引き締めて取り組んでいきたい。

（長倉　穂積）

◇　◇　◇　◇

延岡市医師会

平成24年12月22日に東九州自動車道（都農～高鍋）が開通し，宮崎市までのアクセス時間が今までより20分短くなりました。平成26年度中には，日向～都農間が開通し，延岡～宮崎間がつながることとなります。大学からの，延岡市医師会病院への医師の派遣や，延岡市夜間急病センターの当直医師の宮崎市からの応援が増えることを，おおいに期待したいと思います。

（江崎　豊）

◇　◇　◇　◇

日向市東臼杵郡医師会

日向市から国道327号線を西に車で約40分，山間に広がる美郷町は2006年１月に西郷村，北郷村，南郷村が合併して誕生した町である。この町の中心部に国民健康保険西郷病院がある。平成４年４月にこの病院に着任された金丸吉昌先生は，きびしいへき地医療に20年間従事され，一昨年６月には町議会で県内２例目となる議員発議の「地域医療を守る条例」制定に尽力をされている。先生の地域医療に懸ける意気込みは並々ならぬものがあり，先生の描かれているプランの一つでもある地域医療塾（心の遊び塾）の活動拠点となる「地域医療交流施設・今世六感塾（いまよろっかんじゅく）」が昨年12月20日に牧元幸司副知事，菅沼龍夫宮崎大学長，自治医科大学日高孝紀教授の御臨席のもと開設された。医療塾において医学生・初期研修医・後期研修医の先生方がそば打ち体験や，地域の人（異業種）との交流を行うことによって，医療の現風景を体感し地域医療の魅力を感じ取ってもらおうと考えられたものである。目指すところは将来の医師確保に繋がることを願うものであり，この取組みにエールを送りたい。

（渡邊　康久）

◇　◇　◇　◇

児　湯　医　師　会

次年度の一般社団法人移行に向けての準備も最終段階。児湯准看も現時点で19名の合格が決定。宮崎の医療計画について，県のパブリックコメントも始まっていますが，児湯医師会メンバー有志は，西都児湯医療センター及び国立病院機構宮崎病院，宮崎市夜間急病センター小児科の当直に続いて，この度同急病センター内科当直にも参加し，救急医療の一翼を担います。

（高山　修二）

◇　◇　◇　◇

西都市・西児湯医師会

西都市では２月にプロ野球東京ヤクルトスワローズの二軍がキャンプインします。１月にヤクルトの石川選手，宮崎出身の赤川，七條両選手に押本，村中，山本哲，中澤，八木，坂元（西武）選手の投手９人が自主トレで西都を利用して下さいました。サッカーもＪ１大宮アルディージャ，Ｊ２ガイナーレ鳥取がキャンプされます。今年の御活躍を祈ります。

（松本　英裕）

◇　◇　◇　◇

南　那　珂　医　師　会

医師会及び医師連盟への参加意欲が低迷している様に感じられ，先日も神奈川の医師会の活動状況を見聞してきましたが，首都圏も状況は大きく変わっておらず人選に苦労されているようでした。１：７看護導入からの慢性的看護師不足，地域の要となっている有床診療所の恒常的赤字体系，次期消費税導入における対応等難題は山積みですが，他人任せの状況では何も進んでいかないのではないでしょうか。一人ひとりの活動への意欲が大きな力となります。是非医師会及び医師連盟への積極的御協力を宜しくお願いいたします。

（河野　秀一）

◇　◇　◇　◇

西　諸　医　師　会

平成24年度からは高﨑会長を中心に西諸医療圏の抱える諸問題に対し市町行政とも協力し取り組んでおり，少しずつではありますが成果が現れてきております。昨年末より新たに在宅医療の充実・推進に向けて三師会，行政，保健所を含め多職種の代表による協議会を設置しました。今後，救急医療から慢性期医療・終末期医療，さらに介護サービス提供における幅広い連携の強化に取り組みたいと思っております。今後とも県行政，県医師会の更なるご協力をお願いいたします。

（池井　義彦）

◇　◇　◇　◇

日医インターネットニュースから

■「地域枠」もマッチングが基本
― 臨床研修で小森常任理事 ―

小森貴常任理事はメディファクスの取材に応じ，「地域枠」で入学した医学生も一般の医学生と同様にマッチングに参加して研修病院を決定する現行の仕組みについて「地域枠はさまざまな種類があり，早計に論じることはできない」としながらも，「地域枠といえども全国のマッチングには参加すべき。研修希望者の能力は(マッチングによって)公平公正に判断されるべき」との基本的な考え方を示した。

小森常任理事は「地域枠の問題は各地域の諸事情も絡み，単純に整理できない」と指摘。そうした現状を考慮した上でも地域枠の研修希望者は全国マッチングに参加することを基本ルールにすべきとの判断を示した。地域枠の医学生の臨床研修をめぐっては，四病院団体協議会も全国マッチングへの参加を求めている。四病協は，地域枠の医学生が増加している現状を考えた場合，他の研修希望者と同じマッチングに参加させる必要性があると指摘している。

●「弾力化プログラム」は両論併記も

医師初期臨床研修制度は内科や外科，産婦人科など７診療科のスーパーローテーション方式（全科必修）で04年度にスタートしたが，10年度に見直され，内科，救急，地域医療の３診療科を必修とし，外科，産婦人科，精神科など５診療科のうち２診療科を選択する「弾力化プログラム」となった。小森常任理事は「弾力化プログラムによって臨床研修制度が劣化している実態は認められない」と述べ「弾力化」維持を主張した。

「弾力化」によって正常分娩に立ち会う研修医が減少している問題については，「真摯に受け止めることは重要だ。対応策は，医学部教育の５・６年次の診療参加型臨床実習できちんと履修させることでクリアできる」と説明した。

医学部６年生の臨床実習は医師国家試験対策のために形骸化しているとの見方に対しては「医学部４年生に共用試験のＣＢＴやＯＳＣＥを導入するなど，改革が進められている」とした上で，医学部６年次の診療参加型臨床実習が適切に行えるよう医師国試の在り方を含めた体系的な見直しが必要と指摘した。　（平成24年12月21日）

■生活習慣病薬は次元違う
― スイッチＯＴＣ化で中川副会長 ―

生活習慣病薬のスイッチＯＴＣ薬化について，日本医師会の中川俊男副会長は12月20日のメディファクスの取材に対し，従来の風邪薬などの扱いとは別次元の問題であるとして，重ねて反対する姿勢を示した。高脂血症治療薬「エパデール」のスイッチ化を決めた薬事・食品衛生審議会一般用医薬品部会の委員構成については，医系委員が薬系委員を上回る人数を求めていくとした。

中川氏は同じスイッチ化でも，風邪薬と生活習慣病薬では「次元の違う話」であると強調。生活習慣病領域では，高血圧や高脂血症が脳血管疾患などの重篤な疾患に進行する可能性があるとし，「ちょっとでも異常があったらまずは医療機関に行って医師の診察を受け，総合的な判断をしてもらうことだ」と述べ，医師の診断なしにＯＴＣ薬を服用することは危険だとの認識を示した。

医師と薬剤師の業務分担については「薬剤師が薬の説明をして患者の状態を聞いて適切な判断をするのは必要だが，治療方針の決定は医師が行うことで薬剤師のすることではない」と述べ，生活習慣病薬を薬剤師の判断で販売するべきでないと主張した。

日医がスイッチ化に反対する理由として開業医の患者が減るためではないかとの見方があることに対しては「そういう次元の低い話は言っていないし，けしからん話で心外だ」と述べ，真っ向から否定した。

●医系委員を薬系委員より多く

厚生労働省は19日の薬食審薬事分科会で，日医の提案を受け，生活習慣病分野のＯＴＣ薬化を拡充する方針などを示した一般用医薬品承認審査合理化等検討会の「中間報告書」について，見直しを検討する場を新たに設置する方針を示した。

中川氏は「一般用医薬品の範囲を議論するのだから，その間，生活習慣病薬のスイッチ化の審

査は凍結するものと理解している」と述べ，生活習慣病薬のスイッチ化に一定の歯止めがかかるとの期待を示した。

一般用医薬品部会の委員構成は全部で15人で，医師委員が５人であるのに対し，薬系委員は倍の10人となっている。中川氏は「薬を論ずるときに処方する医系委員が薬系の半分というのはおかしい。少なくとも医系の方が多くないといけない」と述べ，薬系委員よりも多い人数を求めていくとした。（平成24年12月28日）

■ iPS細胞作製へ日赤の協力を了承
― 血液事業部会 ―

厚生労働省の薬事・食品衛生審議会血液事業部会（部会長＝高橋孝喜・東京大医学部付属病院輸血部教授・輸血部長）は12月26日開かれ，京都大の山中伸弥教授らが手掛けるiPS細胞を作製し保存する「iPS細胞ストック」の構築に向け，日本赤十字社が協力することを了承した。

iPS細胞ストックは，山中教授が所長を務める京都大iPS細胞研究所と同大医学部付属病院が連携して行っているもので，移植による拒絶反応が起きにくいHLA型の組み合わせ（HLAホモ接合体）のドナーから再生医療に使用可能なiPS細胞を作製し，保存する。

ただ，HLAホモ接合型のドナーを確保するには，膨大な作業量と時間がかかることから，山中教授らが血液事業において献血者のHLA検査を行っている日赤に協力を依頼していた。

この日の会合では，日赤の血液事業で取得した献血者のHLA型に関する情報をiPS細胞ストック構築のために使用することの可否を審議した。

委員からは特段の異論はなく，ただ個人情報の管理や研究面での使用に限定するよう求める意見が上がった。

これを受け日赤は，来年から献血者に研究協力への周知を開始し，HLA検査を行った献血者でHLAホモ接合型の人に文書で協力を呼び掛ける。夏ごろから協力者に対して具体的な説明を行い，同意を得た上で血液などを提供してもらい，iPS細胞の作製を進める予定だ。

部会ではまた，「血液製剤の安全性の向上および安定供給の確保を図るための基本的な方針」（基本方針）の改訂案，2013年度の「献血の推進に関する計画案」「血液製剤の安定供給に関する計画（需給計画）案」も示され，おおむね了承された。
（平成25年１月８日）

■次期改定へ「基本診療料の議論を」
― 横倉会長 ―

横倉義武会長は１月９日の定例会見で，来年の次期診療報酬改定に向けて基本診療料の在り方をまず議論すべきと提言した。横倉会長は地方都市で診療所が減少している現状があると説明し，地域医療の再興に向けて「しっかりとした診療行為が地方都市でできるような診療報酬をつくらなければならない」と強調した。

横倉会長は「なぜ地域医療が崩壊したかを考えなければいけない」と述べ，特に地方都市の医療提供体制が窮地に陥っていると主張した。地域医療を守るためには基本診療料を議論する必要があると提言。近年は外来診療料が横ばいか減少しているとも指摘し，「何が医療費を押し上げているのかを検証し，改善するところは改善する，手当てすべきところは手当てをするという方針で進めていきたい」と意欲を示した。
（平成25年１月11日）

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので，詳細を知りたい方は日本医師会ホームページでご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法
　日本医師会（http://www.med.or.jp/）にアクセス
　日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック
メンバーズルームに入る方法
　ユーザーID：会員ID番号（日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字）を０も含め，全て半角で入力
　パスワード：先生の生年月日の６桁の数字を半角で入力
　　例）1931年５月１日生まれの場合，310501

薬事情報センターだより（309）

新薬紹介（その60）

今回は11月に薬価収載されたEPA・DHA製剤ロトリガ粒状カプセル２ｇ（一般名：オメガ-3脂肪酸エチル）と眼科用VEGF阻害剤アイリーア硝子体内注射液40mg/ml（一般名：アフリベルセプト（遺伝子組換え））について紹介いたします。

ロトリガ粒状カプセル２ｇ（一般名：オメガ-３脂肪酸エチル）

ロトリガ粒状カプセルの有効成分は，Pronova BioPharma ASA（ノルウェー）が製造した高濃度のオメガ-3脂肪酸です。主成分としてイコサペント酸エチル（EPA-E），ドコサヘキサエン酸エチル（DHA-E）を含有します。

オメガ-3脂肪酸エチルは脂肪酸合成酵素やTG合成酵素の活性化を抑制し，TGの合成を抑制するとともにβ酸化を亢進し，脂肪酸の代謝を高めることにより，TGの合成を抑制します。また，LPLの活性化を高めることにより，TGの代謝を促進し，VLDLの異化を速めます。さらに，CETPの発現を抑制することにより，sd-LDLを低下させ，HDLを増加させます。

本剤は，2012年９月，「高脂血症」を効能・効果として承認され，2013年１月に発売されました。なお，オメガ-3脂肪酸エチルは，1994年にノルウェーで初めて承認され，2012年５月現在，81か国において「高TG血症」（一部の国では，「心筋梗塞の再発予防」）の効能・効果を有する医療用医薬品として承認されています。

承認までの国内臨床試験ではオメガ-3脂肪酸エチルとして２ｇ又は４ｇが投与された948例中91例（9.6%）に臨床検査値の異常を含む副作用が認められました。主な副作用は下痢（2.5%）でした。

アイリーア硝子体内注射液40mg/ml（一般名：アフリベルセプト（遺伝子組換え））

アイリーア硝子体内注射液は，Regeneron Pharmaceuticals Inc.（Regeneron社）及び現Bayer Pharma AG社（Bayer Healthcare Group）によって共同開発された新規の眼科用VEGF阻害剤です。アフリベルセプト（遺伝子組換え）は，ヒトVEGF受容体-1（VEGFR-1）の第２ドメインとヒトVEGF受容体-2（VEGFR-２）の第３ドメインを，ヒトIgG 1のFcドメインに融合した遺伝子組換え融合糖蛋白質です。可溶性のデコイ受容体として，滲出型加齢黄斑変性等の眼疾患にみられる病的な血管新生及び血管漏出に関与すると考えられているVEGF-A及び胎盤成長因子（PlGF）に，本来の受容体よりも高い親和性で結合することにより，その作用を阻害します。また，同様に眼疾患への関与が報告されているVEGF-Bにも結合します。

本剤は，2012年９月に「中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性」を効能・効果として承認され，11月に発売されました。なお，2012年９月現在，米国，オーストラリア及びコロンビアで承認されています。

国内外で実施された第III相試験〔２試験の併合解析（２年間）〕において，本剤に割り付けられた日本人症例76例（８週ごと２mg投与：25例，４週ごと２mg投与：26例，４週ごと0.5mg投与：25例）中31例（40.8%）に副作用が認められました。主な副作用は結膜出血16例（21.1%），眼痛４例（5.3%），点状角膜炎４例（5.3%）でした（承認時）。また，重大な副作用として，眼障害（眼内炎，眼圧上昇，外傷性白内障，網膜出血，網膜色素上皮裂孔，硝子体出血）及び脳卒中が報告されています。

〈参考資料〉

ロトリガ粒状カプセル２ｇ，アイリーア硝子体内注射液40mg/ml各添付文書・インタビューフォーム

（宮崎県薬剤師会薬事情報センター　永井　克史）

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の２本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信
目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内等）
対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆会員交流用メーリングリスト
目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供
対象：会員本人のみ

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

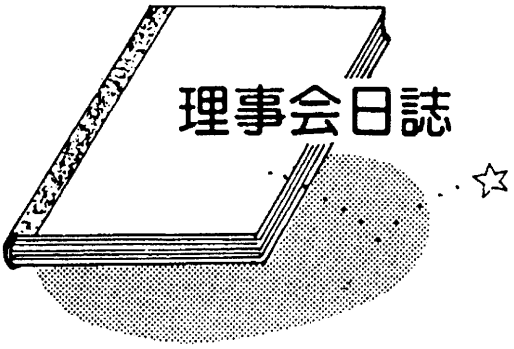
問合せ先：宮崎県医師会　地域医療課
TEL　0985-22-5118

宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館１階の「医療情報コーナー」では，分かりやすい医療や介護の本，闘病記のほか，難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。県民の皆様への貸出もしておりますので，お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索，ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日　10：00～19：00，土曜日　10：00～18：00
休 館 日：日曜・祝日，12月29日～１月３日，８月14～15日，特別整理期間（３日間）

〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地
TEL　0985-22-5118　E-mail：tosho@miyazakimed.or.jp



平成24年12月4日(火)第10回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1．H25.1/15(火)（日医）平成24年度第3回都道府県医師会長協議会の開催について

稲倉会長は日医役員となることから，今回は，代理として富田副会長が出席することが承認された。また提出議題については，稲倉会長並びに富田副会長に一任することとなった。

2．H25.1/9(水)（県医）平成24年感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会について

県内の医師及び看護職員，保健所の感染症担当者や学校関係者等を対象に行われる研修会で，会場及びテレビ会議システムの利用や広報等について協力することが承認された。

3．第26回宮崎県医師会医学賞の推薦について

県医師会医学賞選考委員会の委員長を中山健先生，副委員長を菊池郁夫先生にすることを承認すると共に，12月3日開催の医学賞選考委員会で選考された「当院における肺結核診療の現状」伊井敏彦先生他（県医師会医学会誌第35巻第2号）を医学賞，「本邦における帯状疱疹の大規模疫学調査」外山望先生（県医師会医学会誌第35巻第1号）を特別賞とすることが承認された。

4．九医連・九医学関連について

①第112回九州医師会連合会総会における宣言・決議文の送付先について

→11月24日の九医連総会で満場一致で承認された宣言・決議について，内閣総理大臣を含め170の要職に送付することが提案され，一部，衆議院議員関係を除き，近日中に送付することが承認された。

（報告事項）

1．週間報告について

2．11月末日現在の会員数について

3．11/28(水)（宮崎労働局）労災診療指導委員会について

4．11/28(水)（県医）県医会計監査について

5．11/30(金)（日医）日医医療秘書認定試験委員会について

6．11/28(水)（県福祉総合センター）県社会福祉協議会不動産担保型生活資金審査委員会について

7．11/29(木)（児湯）社会保険医療担当者（医科）の個別指導について

8．12/1(土)（日医）家族計画・母体保護法指導者講習会について

9．11/30(金)（県医）生活習慣病検診従事者研修会について

10．11/28(水)（宮大）メディカルトライアングルプロジェクト学生向けセミナー・交流会について

11．11/28(水)（宮崎労働局）看護師等医療従事者の「雇用の質」の向上のための企画委員会について

12．11/30(金)（日医）都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について

13．12/3(月)（県医）医学賞選考委員会について

平成24年12月11日(火)第11回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

1．本会外の役員等の推薦について

①日本赤十字社宮崎県支部評議員の就任について

→任期満了に伴う評議員の推薦依頼で，引き続き稲倉会長を推薦することが承認された。なお任期は平成25年2月14日から平成28年2月13日までの3年間。

②宮崎県小児慢性特定疾患対策協議会委員の推薦について

→佐藤常任理事急逝に伴う後任の推薦依頼で，県小児科医会との調整の結果，三宅和昭先生を推薦することが承認された。なお，任期は平成24年12月19日から平成26年3月31日まで。

2．H25.1/27(日)(宮日会館)シンポジウム講師派遣について

「がん時代を生き抜くために」をテーマに開催されるフォーラムで，終末期，緩和ケアの立場から，牛谷常任理事を推薦することが承認された。

3．宮崎県に対する要望について

平成25年1月8日(火)に開催される県福祉保健部・病院局との懇談会に提出する要望で，各郡市医師会から出された事項を含め，医師確保をはじめとする8つの懸案事項について要望することが承認された。

4．宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

宮崎市及び日南保健所管内で辞退の申し出があったことから，新たに2医療機関の推薦を依頼するもので，南部病院(宮崎市保健所管内)，にいな内科・循環器科(日南保健所管内)を推薦することが承認された。

5．H25.1/25(金)(岡山)平成24年度メディカルコントロール協議会連絡会の開催について

医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質の向上と地域格差を無くすことを目的に開催される協議会で，古賀常任理事が出席することが承認された。

6．平成25年度の特定健康診査等の集合契約に係るご提案について

診療報酬改定に伴う検査料金の変更を行った委託料単価(基本的な健診項目7,900円)で，例年通りの方法で契約を進めることが承認された。

7．業務委託について

①うつ病医療体制強化事業の委託契約について

→県うつ病医療連携検討部会の開催と県民向けの啓発事業及びうつ病に関する医療連携マニュアルの検討・作成を行う事業で，契約を締結することが承認された。

（報告事項）

1．週間報告について

2．12/5(水)(延岡)延岡市医師会忘年会について

3．12/8(土)(宮観ホテル)宮崎市郡医師会年末懇談会について

4．12/5(水)(都城)都城市北諸県郡医師会忘年会について

5．12/9(日)(東京)全国有床診療所連絡協議会役員会等について

6．12/9(日)(日医)有床診療所に関する検討委員会について

7．12/5(水)(県庁)県健康づくり推進協議会について

8．12/7(金)(福岡)九州地方社会保険医療協議会総会について

9．12/8(土)(県医)生活習慣病検診従事者研修会について

10．12/6(木)(ふじ木)広報委員会について

平成24年12月18日(火)第24回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．12/27(木)(都城)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

病院１医療機関を対象に行われる個別指導で，上田理事を立会人として派遣することが承認された。

２．次期国保審査委員会委員の推薦について

委員の選任基準(内規)に則り，本会・郡市医師会・専門分科医会が推薦する案(委員任期：平成25年１月１日～26年12月31日)が示され，原案どおり承認された。

３．後援・共催名義等使用許可について

①H 25.4 /19(金)～21(日) 2013年第11回一般社団法人日本ヨーガ療法学会・第35回日本アーユルヴェーダ学会宮崎大会開催に伴う後援のご依頼について

→他県での開催状況及び本県での後援状況等を勘案した上で，名義後援を行うことが承認された。

②H 25.2 /25(月)(宮崎市民文化ホール)名義後援のお願いについて

→「宮崎の街で幸せに暮らすために～幸せの国デンマークから～」をテーマに開催される講演会で，名義後援を行うことが承認された。

４．H 25.2 /14(木)(日医)第３回シンポジウム「会員の倫理・資質向上をめざして－ケーススタディから学ぶ医の倫理－」開催について

前回同様，ワークショップ形式を取り入れること等から，医療倫理・自浄作用活性化担当役員の出席要請があり，担当の立元常任理事が出席することが承認された。

５．宮崎県に対する要望について

平成25年１月８日(火)に開催される県福祉保健部・病院局との懇談会に提出する要望で，８つの懸案事項について最終確認が行われ，事前に担当部局に送ることが承認された。

６．H 25.2 /25(月)(県医)宮崎県医師会創立124周年記念医学会について

毎年２月25日に開催している記念医学会について，例年通り，医神祭に引き続き医学賞受賞者の講演と特別講演を行うこと並びに人選等が行われた。

７．宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

宮崎市保健所管内で２医療機関の辞退の申し出があったことから，新たにたかむら小児クリニック，せき診療所内科・呼吸器内科を推薦することが承認された。

８．H 25.1 /16(水)(日医)平成24年度都道府県医師会共同利用施設担当理事連絡協議会について

厳しい経営状況下に置かれている医師会共同利用施設の現状と課題及び公益法人改革への対応等を協議するため開催されるもので，参加者については，担当役員を中心に調整を行うことが承認された。

（報告事項）

１．週間報告について

２．12/13(木)(みなと屋)西都市・西児湯医師会忘年会について

３．12/13(木)(都城)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

４．12/13(木)(日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について

５．12/14(金)(宮観ホテル)県ドクターヘリ運行調整委員会について

６．12/15(土)・16(日)(サンホテル)指導医のための教育ワークショップについて

７．12/18(火)(県庁)県慢性腎臓病(ＣＫＤ)対策連絡協議会について

8．12/16(日)(福岡)女性医師支援センター事業九州ブロック会議について
9．12/18(火)(県医)治験審査委員会について
医師連盟関係
（報告事項）
1．第46回衆議院議員選挙結果について

平成24年12月25日(火)第25回常任理事協議会

開会に先立ち，宮大医学部附属病院救命救急センターの金丸勝弘先生が，重症患者の転院搬送における防災ヘリ「あおぞら」とドクターヘリの棲み分けについて，運用フローチャートをもとに説明を行い，1月1日からの運用と医療機関への周知活動に対して協力要請を行った。
医師会関係
（協議事項）
1．宮崎日日新聞「新春号1/1掲載」広告記事について
　稲倉会長の挨拶を再確認した上で，昨年同様，来年3月県民健康セミナー，看護師等の募集，医療情報コーナーの案内等を中心に掲載することが承認された。
2．H25.1/10(木)(JA-AZM)新規集団指導(医科)の実施について
　8医療機関を対象に行われる新規集団指導の後，県医師会主催で「指導・監査について」，「県医師会の活動について」を中心とする説明会を開催することが承認された。
3．H25.1/17(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導の実施について
　4医療機関を対象に行われる新規個別指導で，石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。
4．H25.1/17(木)(JA-AZM)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について
　2医療機関を対象に行われる個別指導で，新規個別指導後に開催されることから，引き続き石川常任理事を立会人とすることが承認された。
5．本会外の役員等の推薦について
①宮崎大学創立33周記念事業支援の会への就任について
　→宮崎大学は教育文化学部130周年，農学部90周年，工学部70周年，医学部40周年の節目にあたることから，創立33周記念事業として講演会，記念誌，記念施設建設等を企画しており，その支援の会のメンバーに稲倉会長が就任することが承認された。
6．H25.3/6(水)(日医)平成24年度医療政策シンポジウム開催案内及び参加者派遣依頼について
　今年度は「これからの社会保障を考える」をテーマに開催されるシンポジウムで，古賀常任理事が出席することが承認され，その他の参加希望があれば事務局まで申し出ることとなった。
7．H25.2/17(日)(日医)平成24年度母子保健講習会の開催について
　メインテーマを「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して－7」と題して開催される講習会で，濱田常任理事が出席することが承認された。
8．宮崎県医師会理事業務分担について
　佐藤常任理事逝去に伴う業務分担の最終確認で，主たる担当として予防接種(予防接種委員会含む)，学校保健，学校医部会，園医部会を髙村一志先生。会計を吉田常任理事に担当してもらうことが承認された。
9．1・2月の行事予定について
　平成25年1月の追加行事と2月の行事について確認が行われた。

（報告関係）

1．12/12(水)（支払基金）支払基金幹事会について
2．12/18(火)（日医）日医理事会について
3．12/20(木)（宮大医学部）県がん診療連携協議会について
4．12/20(木)（ひまわり荘）社会保険医療担当者（医科）の個別指導について
5．12/20(木)（日医）日医公衆衛生委員会について
6．12/22(土)（日医）日医医療基本法（仮称）制定に関するシンポジウムについて
7．12/21(金)（日医）国民医療を守るための総決起大会について
8．その他
　①宮崎県医師会における医療事故紛争対策と活動状況について

医師連盟関係

（協議事項）

1．H 25.1 /15(火)（日医）日医連執行委員会開催について

　平成23年度決算，平成25年度の負担金基準額，次期参議院比例代表選挙等について協議を行う執行委員会で，稲倉委員長と富田常任執行委員（代理）が出席することが承認された。

2．次期参議院比例代表選挙における「組織内候補」擁立について

　平成25年1月15日の日医連常任執行委員会で検討される組織内候補について，全国がまとまって戦える有力候補者を照会するもので，検討後，該当者がいれば報告することとなった。

お知らせ

平成24年度日本医師会認定医療秘書養成制度
卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では，日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し，医療事務に必要な知識，最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに，医療機関の今日的な使命を自覚し，誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも養成校では力を入れています。

今年度，医療事務職員採用のご予定がございましたら，何卒，県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお，求職に関するお問い合わせ等につきましては，直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

（平成25年1月30日現在）

宮崎学園短期大学 （宮崎市）	宮崎医療管理専門学校 （宮崎市）	都城コアカレッジ （都城市）
就職希望者24名 （女24名）	就職希望者35名 （男4名，女31名）	就職希望者8名 （女8名）
連絡先：℡ 0985-85-0146 宮崎市清武町加納1415 担当：佐土原　敦 谷口　和子	連絡先：℡ 0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当：福元　　進	連絡先：℡ 0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当：原口桂一郎 中山さおり 吉原真由美

県医の動き

（1月）

1	（年始休業）
2	（年始休業）
3	（年始休業）
4	新年賀詞交歓会（会長他） 仕事始め式（会長） 健康づくり協会仕事始め式（会長）
5	三師会合同新春懇談会（会長他）
8	第12回全理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会（会長他）
9	支払基金幹事会（会長） 病院部会・医療法人部会合同理事会（古賀常任理事他） 病院部会・医療法人部会合同懇親会（会長他） 感染症危機管理・予防接種実務担当者研修会
10	宮崎政経懇話会（会長） 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会（石川常任理事） 2020.30推進懇話会（日医） 県健康づくり推進協議会（富田副会長） 新規集団指導（医科） 県産婦人科医会常任理事会（濱田常任理事） 新規保険医療機関への説明会（会長他）
11	日医地域医療対策委員会（日医）（富田副会長）
12	宮崎県地域医療・福祉推進協議会総会（会長他） 産業医研修会
15	日医理事会（日医）（会長） 都道府県医師会長協議会（日医）（会長他） 日医連執行委員会（日医）（会長他） 都道府県医師会長協議会・日医連執行委員会合同新年会（日医）（会長他） 治験審査委員会（古賀常任理事他） 第26回常任理事協議会（河野副会長他）
16	全体課長会（事務局） 県医療費適正化計画策定検討委員会（古賀常任理事） 都道府県医師会共同利用施設担当理事連絡協議会（日医）（佐々木理事） 県感染症対策審議会（吉田常任理事他）
17	社会保険医療担当者（医科）の新規個別指導（石川常任理事） 社会保険医療担当者（医科）の個別指導（石川常任理事） 県内科医会学術委員会 広報委員会（富田副会長他）
18	宮大経営協議会・学長選考会議（会長）
19	県産婦人科医会冬期定時総会
20	医療事故防止研修会（日医）（濱田常任理事） 全国医師協同組合連合会広報部会（東京）（立元常任理事）
21	県健康づくり協会検診車出発式（会長）
22	地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会（荒木常任理事） 医協打合会（立元常任理事） 第27回常任理事協議会（会長他）
23	宮崎信販との懇談会（立元常任理事）
24	県医療計画策定委員会（富田副会長他） 広報委員会（荒木常任理事他） 産業医研修会 精度管理調査実行委員会（事務局） 医師国保定例事務監査（秦理事長他）
25	治験ネットワークフォーラム（東京） 全国メディカルコントロール協議会連絡会（岡山）（古賀常任理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（河野副会長） 医師国保理事会（秦理事長他）
26	次期診療報酬改定の要望事項に係る医療保険対策協議会（河野副会長他） 九医連常任委員会（会長） 九医連各種協議会（河野副会長他）
27	九医連親善ゴルフ大会 県医緩和ケアチーム研修会 九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会（富田副会長他）
29	医協理事会（会長他） 第13回全理事協議会（会長他） 医協理事・運営委員合同協議会（会長他） 各郡市医師会長協議会（会長他）
30	ピンクリボン活動企画運営委員会（事務局） 労災診療指導委員会（河野副会長） 県内科医会誌編集委員会
31	社会保険医療担当者（医科）の新規個別指導（池井常任理事） 九州メディカルバレー構想フォーラム（古賀常任理事他） 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会（石川常任理事）

お知らせ

日本女性医師バンク

ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）　　平成25年1月16日現在

本会では，会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は，当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在，下記のとおりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申込み，お問合せは当紹介所へ直接お願いいたします。
また，宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1．求職者登録数　　4人

1）男性医師求職登録数　　4人　　（人）

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	3	1	2
整形外科	1	1	0

2．斡旋成立件数　44人

	男性医師	女性医師	合計
平成24年度	3	1	4
平成16年度から累計	32	12	44

3．求人登録　　89件　　324人　　（人）

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	100	73	27
外科	32	24	8
整形外科	25	17	8
精神科	21	16	5
循環器科	14	14	—
脳神経外科	10	9	1
消化器内科	16	14	2
麻酔科	6	5	1
眼科	8	7	1
放射線科	6	6	—
小児科	8	6	2
呼吸器内科	11	10	1
リハビリテーション科	3	3	—
血液内科	3	3	—
神経内科	9	8	1
救命救急科	3	3	—
健診	6	3	3
産婦人科	2	2	—
泌尿器科	3	2	1
検診	2	—	2
皮膚科	1	1	—
人工透析	2	2	—
耳鼻咽喉科	2	2	—
その他	31	27	4
合計	324	257	67

求　人　登　録　者（公開）

※求人情報は，申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合，
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は，公開について同意をいただいております。

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
150005	医）りっか会ピア・メンタル ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮崎市	検診	2	非常勤
160013	医）三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳，整，放，麻，内	8	常勤・非常勤
160017	医）ブレストピア ブレストピアなんば病院	宮崎市	乳腺，内	3	常勤
160020	財）弘潤会 野崎病院	宮崎市	精，内	2	常勤
160031	医）同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼，神内，眼，耳，総診，呼外，循，臨病	9	常勤
160033	医）如月会 若草病院	宮崎市	内，精	3	非常勤
170046	医）社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内，内泌糖内，呼，リウマチ，神経内 ，健診	6	常勤・非常勤
170048	医）慶明会 けいめい記念病院	国富町	内，眼	2	常勤
170052	医）春光会	宮崎市	外，内	3	常勤
180061	医）あいクリニック	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内，神内，整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内	3	常勤
190094	医）耕和会 迫田病院	宮崎市	内，外	7	常勤・非常勤
190095	医）慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医）晴緑会 宮崎医療センター病院	宮崎市	消化，麻，循 ，リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医）社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内，外，救急，呼外，婦人	7	常勤
200105	医）誠友会 南部病院	宮崎市	内，外，放	3	常勤
210110	医）幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮崎市	内，外 ，整	12	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮崎市	内	1	非常勤
230128	医）真愛会 高宮病院	宮崎市	内	1	常勤
230132	医）康友会 青島クリニック	宮崎市	内	1	常勤
230134	医）慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国富町	内，外	2	常勤
230140	医）将優会 クリニックうしたに	宮崎市	外，内，整，家庭医，総合臨床	1	常勤
240141	医）博愛社 佐土原病院	宮崎市	内	1	非常勤
240143	医）社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外 ，内	2	常勤
240144	宮崎生協病院	宮崎市	総内 ，呼吸内 ，消化器内 ，健診	8	常勤・非常勤
160008	医）正立会 黒松病院	都城市	内，泌	2	常勤
160010	特医）敬和会 戸嶋病院	都城市	内，消内 ，整 ，神内	7	常勤・非常勤
160018	医）宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内，救急，放射，脳外，外，総合 ，眼 ，透内	8	常勤
170042	医）豊栄会 豊栄クリニック	都城市	内，老内，精	3	常勤
170056	医）社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都城市	循内，脳外，呼，神内	5	常勤
170057	医）清陵会 隅病院	都城市	内，外，整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都城市	消内，血内，循，内，脳，産婦，耳鼻	9	常勤
180069	社）八日会 大悟病院	三股町	精，内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都城市	内	2	常勤・非常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都城市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都城市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	外,内,麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都城市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都城市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
240142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハビリ	2	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延岡市	外,整,皮,放,内,消外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延岡市	外,消内,緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延岡市	内,外麻,精,神内,脳神経,老施,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小,外,整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延岡市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,内,整,透	7	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内	3	常勤
230130	医)ラポール向洋	日向市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日向市	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内,放,外,小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	整,内,心内,眼,健診,循,脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼,循,消内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川南町	眼,麻,脳	13	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内,消内,神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	4	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,神内,整,リハビリ	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串間市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小林市	内,循,呼,血内,健診,放,小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小林市	外,内,整	7	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神内,循内	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	2	非常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 25年1月 16日現在

1．譲渡物件	①　宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番，2634番 土地のみ：593.57坪（2022.17㎡）
2．賃貸物件	①　宮崎市曽師町209-3（旧　田川内科医院跡地） 建物：鉄筋コンクリート造2階建 1階　183.35㎡，　2階　166.69㎡ ※駐車場：10台分
	②　延岡市大門町188-1（旧　白坂内科医院跡地） 建物：鉄筋造平屋建　205㎡ ※駐車場：10台分

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1．取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2．紹介受付は，月～金の午前9時から12時及び13時から17時です。
3．申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4．ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5．斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先　ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地（宮崎県医師協同組合）
TEL　0985-23-9100(代)・FAX　0985-23-9179
E-mail：isikyou@miyazakimed.or.jp

宮崎県医師会行事予定表

平成25年1月31日現在

2月

1	金	14：00 (日医)日医定款・諸規程検討委員会
2	土	15：00 県産婦人科医会妊娠等の悩み相談窓口に関する研修会 16：00 県外科医会冬期講演会
3	日	13：00 日医医療秘書認定試験
4	月	15：30 県医療審議会 16：00 九医連事務局長連絡協議会(事務局) 19：00 介護保険主治医研修会
5	火	14：00 地方公務員災害補償基金支部審査会 18：00 治験審査委員会 19：00 第28回常任理事協議会
6	水	
7	木	19：00 産業医研修会 19：00 県内科医会理事会 19：00 県警察医会協議会
8	金	
9	土	14：00 (日医)日医医療情報システム協議会(事務局) 14：30 自賠責保険研修会 15：00 医療基本法(仮称)制定に関するシンポジウム 15：40 県内医師会病院連絡協議会 16：00 県医医療情報システム講演会 16：00 県産婦人科医会がん部会事業研修会
10	日	9：00 (日医)日医医療情報システム協議会
11	月	(建国記念の日) 9：00 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講演会
12	火	13：30 県腎臓バンク理事会 19：00 第29回常任理事協議会
13	水	13：00 宮崎県救急搬送受入れ対策協議会 15：00 県メディカルコントロール協議会 16：00 支払基金幹事会 18：30 県周産期医療協議会
14	木	14：00 (日医)日医シンポジウム「会員の倫理・資質向上をめざして」 19：30 広報委員会 19：30 県産婦人科医会常任理事会
15	金	13：00 (日医)日医総研シンポジウム 15：00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会
16	土	15：30 九州地区医師国保組合連合会全体協議会
17	日	10：00 (日医)日医母子保健講習会 16：00 県小児科医会役員会
18	月	11：00 宮崎大学創立330記念事業支援の会 18：00 県がん対策推進協議会
19	火	14：00 (日医)日医理事会 14：00 医療機器開発/医療サービスに繋がるIT×医療のためのネットワーク形成事業検討会議 16：00 (日医)日医連執行委員会 19：00 第30回常任理事協議会
20	水	9：10 全体課長会(事務局) 13：00 県歯科保健推進協議会
21	木	13：30 社会保険医療担当者(医科)の個別指導 14：30 (日医)日医公衆衛生委員会 19：00 広報委員会 19：00 県内科医会評議員会
22	金	14：00 (日医)女性医師支援事業連絡協議会 14：00 (日医)都道府県医師会事務局長連絡協議会(事務局) 14：30 九州地方社会保険医療協議会総会 19：00 特定健康診査等従事者研修会
23	土	15：00 勤務医部会理事会 15：00 地域リハビリテーション研修会 16：00 勤務医部会後期講演会
24	日	
25	月	18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19：00 創立124周年記念医学会
26	火	18：15 医協理事会 19：00 第14回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会
27	水	15：00 労災診療指導委員会
28	木	10：00 (日医)日医死体検案研修会 19：00 医療安全対策セミナー

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。

宮崎県医師会行事予定表

平成25年1月31日現在

3月

1	金	18：45　県医スポーツドクター連盟総会・スポーツ医学セミナー 19：00　県医健康スポーツ医学セミナー 19：00　医師国保理事会
2	土	12：00　県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会総会研修会 15：25　県産婦人科病医院従事者研修会ひむかセミナー 16：00　病院部会・医療法人部会合同医療従事者研修会 16：00　日医連(九州ブロック)医政活動研究会 18：00　各郡市内科医会長会
3	日	9：00　県産婦人科病医院従事者研修会ひむかセミナー 10：00　レジナビフェア
4	月	
5	火	18：00　治験審査委員会 19：00　第31回常任理事協議会
6	水	13：00　(日医)医療政策シンポジウム 16：00　全国国保組合協会九州支部総会
7	木	19：00　医師国保移動理事会
8	金	全国国保組合協会通常総会 15：00　(日医)日医地域医療対策委員会
9	土	九州医師協同組合連合会購買・保険部会 14：30　産業医研修会(実地) 16：00　九医連常任委員会 17：00　九州ブロック日医代議員連絡会議
10	日	九医連親善ゴルフ大会
11	月	
12	火	19：00　第15回全理事協議会
13	水	16：00　支払基金幹事会
14	木	19：30　広報委員会 19：30　県産婦人科医会全理事会
15	金	19：00　産業医研修会 19：00　医師国保通常組合会
16	土	15：00　九州各県内科医会会長会議
17	日	
18	月	13：30　宮大経営協議会 18：30　県産業保健連絡協議会等
19	火	14：00　(日医)日医理事会 19：00　第32回常任理事協議会
20	水	(春分の日) 医師国保歩こう会
21	木	
22	金	15：00　県訪問看護推進協議会 19：00　広報委員会 19：00　糖尿病地区別小講習会
23	土	9：00　ICLS指導者養成ワークショップ 15：00　県医在宅医療協議会 16：00　県内科医会総会並びに会員発表会・特別講演会
24	日	8：30　ACLS研修会 13：00　県民健康セミナー
25	月	
26	火	県地域医療支援機構代表者会議 18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19：00　第3回理事会
27	水	15：00　労災診療指導委員会
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	9：30　(日医)日医定例代議員会・定例総会

国保審査

社保審査

※都合により，変更になることがあります。

医　学　会・講　演　会
日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，cc：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）
がん：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）
波線：専門研修会以外の産業医研修会
※アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演題	主催・共催・後援	単位	cc・がん
西諸医師会・西諸整形外科医会・西諸内科医会合同学術講演会 2月1日㈮ 18：30～ ガーデンベルズ小林	肩こりの診断と治療 熊本リハビリテーション病院副院長 山鹿　眞紀夫	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 西諸整形外科医会 ◇共催 西諸内科医会 日本臓器製薬㈱	1	59 61
延岡医学会学術講演会 2月1日㈮ 18：45～20：15 ホテルメリージュ延岡	乳癌術後観察と地域連携 －熊本県版「私のカルテ」を用いた乳癌地域連携の現状と課題－ 熊本大学医学部附属病院乳癌分子標的学寄附講座特任准教授　山本　豊	◇共催 延岡医学会 ※エーザイ㈱ ☎0985-26-2676 ◇後援 延岡内科医会	1	9 13 乳
第48回宮崎県スポーツ学会 2月2日㈯ 15：00～19：00 宮崎大学医学部附属病院	足関節・足部のスポーツ傷害 －関節鏡視下手術例を中心に－ 奈良県立奈良病院副院長　杉本　和也 参加費：1,000円	◇共催 宮崎県スポーツ学会 久光製薬㈱ ◇後援 宮崎県医師会 （連絡先） 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986	1	61 62

名称・日時・場所	演　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
第151回宮崎県眼科医会講習会 2月2日㈯ 16：00～18：30 ホテルスカイタワー	トーリックSCL処方成功のポイント －弱度乱視への適応とケーススタディー－ しおや眼科院長　塩谷　浩 網膜剥離の診断と治療，その進歩 産業医科大学眼科学教室准教授　近藤　寛之 参加費：3,000円（開業医・勤務医） 2,000円（公的医療機関勤務医）	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 ジョンソン・アンド・ジョンソン㈱	3	36
平成24年度介護保険に関する「主治医研修会」 2月4日㈪ 19：00～22：00 県医師会館 （TV会議：都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西諸・西臼杵）	主治医意見書の記載方法および主治医意見書記載事例検討 歯科関連 県歯科医師会　錦井　英資 認知症について けいめい記念病院　岡原　一徳 脳血管疾患について 潤和会記念病院　河野　寛一	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県	3	2 10 29 34 78 80
第78回宮崎市郡医師会心臓病研究会 2月5日㈫ 19：00～20：30 宮崎観光ホテル	冠動脈バイパスは無くてもよいか？ 滋賀医科大学心臓血管外科教授　浅井　徹	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 テルモ㈱	1.5	1 8 15
第30回宮崎感染症研究会 2月7日㈭ 18：45～20：30 宮崎観光ホテル	医療関連感染制御の基礎 古賀総合病院臨床検査部長感染制御室長 南嶋　洋一 ICTによる耐性菌対策の実践 兵庫医科大学感染制御学主任教授 竹末　芳生 参加費：1,000円（学生除く）	◇共催 宮崎感染症研究会 ※第一三共㈱ ☎0985-23-5710	1.5	10 11

名称・日時・場所	演　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
宮崎県医師会産業医研修会 2月7日㈭ 19：00～21：00 県医師会館	⑷メンタルヘルス対策 セルフ＆ラインケアー交流分析からみる人間関係ー 都城新生病院　前原　正法 生涯研修の専門研修会：2単位	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118	2	9 10 69 70
延岡医学会学術講演会 2月8日㈮ 18：45～20：15 キャトルセゾン・マツイ	かかりつけ医による認知症治療 ー由布物忘れネットワークの取組みー 大分大学医学部総合診療部診療講師 吉岩　あおい	◇共催 延岡医学会 ※第一三共㈱ ☎0985-23-5710 ◇後援 延岡内科医会	1	29 69
第29回宮崎呼吸器乳腺懇話会 2月8日㈮ 19：00～20：30 ガーデンテラス宮崎ホテル＆リゾート	免疫と関わる呼吸器疾患ー肺癌を含めてー 宮崎大学医学部膠原病感染症内科講師 長友　安弘 参加費：500円(学生・コメディカルは無料)	◇共催 宮崎呼吸器乳腺懇話会 ※協和発酵キリン㈱ ☎0985-22-8801	1.5	19 73 82 肺
宮崎県医師会医療情報システム講演会 2月9日㈯ 16：00～18：00 県医師会館	宮崎県医師会電子カルテアンケート結果報告 県医師会常任理事　荒木　早苗 宮崎における最新ⅡT事情 宮崎大学医学部附属病院医療情報部教授 荒木　賢二 EHR(生涯カルテ)の現状と課題 京都大学医学部附属病院医療情報企画部教授 吉原　博幸	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118	2	8 9 13 84

名称・日時・場所	演　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
西臼杵地区学術講演会 2月14日㈭ 19：00～ ホテル高千穂	健康寿命延伸を目指して　今危ない運動器疾患 －ロコモ予防を地域から－ 宮崎大学医学部整形外科学教授　帖佐　悦男	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 第一三共㈱ （連絡先） 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010	1	19 61
第73回江南医療連携の会・症例検討会 2月14日㈭ 19：00～20：30 社会保険宮崎江南病院	距骨体部粉砕骨折の1例 社会保険宮崎江南病院整形外科部長 益山　松三 高Ca血症を呈した尿細管間質性腎炎の一例 同病院内科医員　海老原　史高 最近の胃手術症例について 同病院外科医員　天辰　仁彦	◇主催 江南医療連携の会 （連絡先） 社会保険宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575	1.5	53 62
第22回宮崎臨床免疫研究会 2月15日㈮ 18：50～20：30 ホテルJALシティ宮崎	自己炎症とリウマチ性疾患 長崎大学医歯薬学総合研究科 展開医療科学講座（第一内科）教授　川上　純	◇共催 日本リウマチ学会 日本リウマチ財団 宮崎県内科医会 宮崎臨床免疫研究会 ※旭化成ファーマ㈱ ☎ 0985-28-2736	1	28 84
延岡医学会学術講演会 2月15日㈮ 19：00～20：15 ホテルメリージュ延岡	高血圧治療はNEXT STAGEへ 獨協医科大学循環器内科主任教授 石光　敏彦	◇共催 延岡医学会 延岡内科医会 ※大日本住友製薬㈱ ☎ 0985-29-5855	1	74 82

名称・日時・場所	演　　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
第41回宮崎救急医学会 2月16日㈯ 13：00～19：00 県医師会館	症例検討 佐賀県における救急医療体制におけるモバイルコンピューティング活用 佐賀大学医学部救命医学講座教授 救命救急センター長　阪本　雄一郎 参加費：500円	◇主催 宮崎救急医学会 （連絡先） 都農町国民健康保険病院 ☎0983-25-1031 （河野）	5	9 13 57 84
第28回宮崎県リウマチ研究会・第21回宮崎リウマチのケア研究会 2月16日㈯ 15：30～17：30 ホテルJALシティ宮崎	日本の関節リウマチ診療はどう変化しているのか？ －日本最大の関節リウマチデータベース，NinJaから見えてくる現状と問題点－ 国立病院機構相模原病院臨床研究センター リウマチ性疾患研究部長　當間　重人 参加費：1,000円	◇共催 宮崎県リウマチ研究会 宮崎リウマチのケア研究会 参天製薬㈱ ※エーザイ㈱ ☎0985-26-2676	1	8 61
宮崎市郡医師会園医部会総会・講演会 2月16日㈯ 16：00～17：30 宮崎市郡医師会館	宮崎市におけるむし歯予防の取組み 宮崎市保健所健康支援課歯科医師 櫛山　実寿	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434	1.5	1 11 12
都城市北諸県郡医師会内科医会学術講演会 2月21日㈭ 18：45～20：30 グランドパティオ都城	正常血糖応答維持をめざす2型糖尿病の薬物療法 順天堂大学大学院スポートロジーセンター長 河盛　隆造	◇主催 都城市北諸県郡医師会内科医会 ◇共催 田辺三菱製薬㈱ 第一三共㈱ （連絡先） 都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711	1.5	73 76 82

名称・日時・場所	演　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
平成24年度宮崎県アレルギー講演会 2月21日㈭ 19：00～20：30 宮崎観光ホテル	食物アレルギーへのアプローチ（仮） 柴田　瑠美子	◇共催 日本アレルギー協会九州支部 ※グラクソ・スミスクライン㈱ ☎0120-561-007 ◇後援 宮崎県医師会	1.5	84
西諸医師会・西諸内科医会合同学術講演会 2月21日㈭ 19：00～ ガーデンベルズ小林	ガイドラインに基づく脂質異常症治療 －自験例を交えて－ いしざわ循環器内科院長　石澤　宗純 高齢化，重症複雑化に対応した心臓血管外科手術 宮崎大学医学部循環呼吸・総合外科学分野 教授　中村　都英	◇主催 ※西諸医師会 ☎0984-23-2113 西諸内科医会 ◇共催 塩野義製薬㈱ アストラゼネカ㈱	2	1 8 42 75
平成24年度特定健康診査等従事者研修会 2月22日㈮ 19：00～20：30 県医師会館 （TV会議：都城・延岡・日向・児湯・西都・南那珂・西臼杵）	高血圧と糖尿病 宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御学 准教授　北　俊弘	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 宮崎県	1.5	11 74 76
第12回地域リハビリテーション研修会 2月23日㈯ 15：00～ 県医師会館	脳卒中後の嚥下障害と誤嚥性肺炎 －なるほどホントは脳卒中に胃瘻は要らないんだ⁉－ 国立病院機構長崎医療センター脳神経外科医長 高畠　英昭	◇主催 宮崎県寝たきり予防対策支援センター （連絡先） 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118	2	47 48 49 78

名称・日時・場所	演　　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
宮崎市郡小児科医会学術集会 2月28日(木) 19：15～20：30 ニューウェルシティ宮崎	マイコプラズマ感染症 －診断・耐性菌・発症機構に関する最近の話題－ 札幌徳洲会病院小児科医長　成田　光生	◇共催 宮崎市郡小児科医会 ※大正富山医薬品㈱ ☎092-451-7884	1	28
第10回宮崎GERD研究会 3月8日(金) 18：50～ MRT-micc	酸関連疾患激動の半世紀(仮) 公立黒川病院・東北大学名誉教授 本郷　道夫 参加費：500円	◇共催 宮崎GERD研究会 ※アストラゼネカ㈱ ☎080-3100-6507 第一三共㈱ ◇後援 宮崎県内科医会	2	1 2 50 52
宮崎市郡外科医会 3月例会 3月11日(月) 19：10～20：10 宮崎観光ホテル	麻酔の今 宮崎市郡医師会病院麻酔科長　國武　歩	◇主催 宮崎市郡外科医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434	1	1 10
第74回江南医療連携の会・症例検討会 3月14日(木) 19：00～20：30 社会保険宮崎江南病院	宮崎県少年野球検診に関する報告 社会保険宮崎江南病院整形外科医員 長澤　誠 2012年肺，乳腺症例について 同病院副院長(外科)　白尾　一定 Five-fingered handの治療経験 同病院形成外科主任部長　大安　剛裕	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 社会保険宮崎江南病院 ☎0985-51-7575	1.5	12 25

名称・日時・場所	演　題	主催・共催・後援	単位	CC・がん
宮崎県医師会産業医研修会 3月15日(金) 19：00～21：00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 労働者の心のストレス調査について 西都病院　植田　勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118	2	5 6 69 70
臨床医のための循環器疾患研究会 3月19日(火) 19：00～20：30 宮崎観光ホテル	NOの新しい展開－硝酸薬とRhoキナーゼ－(仮) 広島大学原爆放射線医科学研究所 ゲノム障害医学研究センター教授　東　幸仁	◇共催 宮崎県内科医会 臨床医のための循環器疾患研究会 ◇後援 ※トーアエイヨー㈱ ☎080-5576-5209	1.5	1 9 15
日本運動器科学会平成24年度教育研修講演会 3月30日(土) 14：20～19：00 宮崎観光ホテル	回復期病棟での運動器疾患患者への取組みと動向 延岡リハビリテーション病院長　金井　一男 運動器疾患を取り巻く環境－ロコモを中心に－ 宮崎大学医学部整形外科学教授　帖佐　悦男 我々の行っている介護予防事業への取組みと成果－ロコモ対策とメタボ対策－ 高知大学医学部附属病院リハビリテーション部教授　石田　健司 高齢者のバランス障害とバランス訓練 北整形外科医院院長　北　潔	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室 ☎0985-85-0986 ◇共催 日本運動器科学会 宮崎県臨床整形外科医会 宮崎県整形外科医会 久光製薬㈱	4	5 11 19 61 62 73 77 82

所得補償保険のご案内

診療メモ

外傷後の不可解な痛み
～複合性局所疼痛症候群（complex regional pain syndrome：CRPS）とは？～

潤和会記念病院　麻酔科ペインクリニック　立山真吾（たてやましんご）

診察室で

まずは，診察室での患者さんの訴えをお聞きください。

患者：「先日，健康診断で採血をしてもらったんですが，その時にビリッとしびれた感じが腕に走って，採血が終わった後もその感じが残って，針を刺したところがだんだん痛くなってきたんです。軽く触っただけなのにすごく痛いんです」。

静脈穿刺後の末梢神経損傷が疑われた症例です。治療経過をみていかないと何とも言えませんが，場合によっては難治性の痛みになってしまう可能性があります。当科は痛みの治療を専門にしており，年に数例このような患者さんが来院されます。

はじめに

複合性局所疼痛症候群（complex regional pain syndrome：CRPS）は，外傷を契機として，慢性の痛み，アロディニア（触れた刺激を痛みと感じてしまう異常感覚），痛覚過敏（痛み刺激をより強く感じる状態），自律神経障害（浮腫，発汗異常など）など多彩な症状が現われる慢性疼痛症候群です。いろいろな原因で起こる可能性があり，傷が治った後も痛みが続く難治性の痛みが特徴です。軽微な外傷から発症したにもかかわらず，重篤な障害を残すことがあり，重症化した場合手の施しようがなくなることもあります。

歴史

この病態は，1867年，南北戦争時の末梢神経損傷後の焼けつくような痛みに対して，カウザルギー（causalgia：灼熱痛）という病名がつけられたことに始まります。

1946年には反射性交感神経性ジストロフィー（regional sympathetic dystrophy：RSD）という病名もつけられました。その後，必ずしも交感神経との関連がない場合があることが判明し，1994年に国際疼痛学会によってCRPSという呼称が提案されました。CRPS type1をRSD，CRPS type2をカウザルギーと区別しています。

整形外科領域ではSudeck萎縮，リハビリ領域では肩手症候群と呼ばれることもあります。

原因

外傷，骨折，打撲，手術，採血後などで発症する可能性があります。

症状

症状は多彩です。

早期の症状は炎症反応によるものです。

時間の経過につれて，知覚神経，運動神経，自律神経，情動などに病的変化がおこり，複雑に絡み合って，多彩な症状が現われると考えられています。

1）異常な痛み
2）浮腫，発汗異常，皮膚の温度変化などの交感神経症状

3）皮膚の色調変化，骨の萎縮などの局所栄養障害
4）関節拘縮などの機能障害
5）アロディニア，知覚過敏などの知覚異常

判定指標

多彩な症状を呈するため，診断は必ずしも容易ではありません。これまでにいくつかの診断基準が提唱されました。日本では，2008年に厚生労働省CRPS研究班が日本版CRPS判定指標を作成しました。臨床用と研究用の２つの指標があります(表１)[1)]。

運用上の注意点としては，これらの判定指標は治療方針の決定，専門施設への紹介判断などに使用されることを目的としており，補償や訴訟などの際には使用するべきではないと明記されています。

治療

症状が進行すると有効な治療手段がなくなる場合があり，CRPSと疑われた時から早急に集中的な治療が必要です。治療効果には個人差があることがあり，個々の患者に応じた治療計画を立てることが重要です。

日本ペインクリニック学会が作成した「ペインクリニック治療指針 改訂第３版(2010年)」の治療方法を示します。

1）理学療法
　①物理療法
　②運動療法
2）薬物療法
　①抗炎症薬
　②ノイロトロピン
　③抗うつ薬
　④抗けいれん薬
　⑤麻薬性鎮痛薬
3）神経ブロック法
　①局所静脈内ステロイド薬注入
　②交感神経ブロック
　③その他の神経ブロック
4）硬膜外脊髄電気刺激法

予後

一定の見解は得られていません。予後良好の報告もあれば，予後不良の報告もあります。当初限局していた症状が，時間の経過により拡大していく場合があり，重症化させないことが重要です。CRPSの判定が遅くなるほど，適切な治療が遅れることになるので，早期に判定を正しく行うことが，予後改善につながると考えられます。

問題点

現在でも医学的診断基準と後遺障害認定基準については見解の不一致が解消されていません。他者から受けた外傷や労災事故は補償問題や医療訴訟に発展する場合もあります。慢性のCRPSでは心理社会的要因の影響が大きくなり，虚偽性障害や疼痛性障害などの精神疾患との鑑別が必要となる場合もあります。

おわりに

冒頭で紹介した採血による外傷が契機となり，CRPSを発症する場合があります。もし，疑わしい症状が出現した場合には，判定指標を利用していただき，専門施設への紹介をご検討いただければと思います。

文献

1）柴田政彦：CRPSの診断．(眞下　節，柴田政彦・編：複合性局所疼痛症候群)．東京，真興交易医書出版部，2009，68

表1　日本版CRPS判定指標(文献1より引用)

臨床用

A．病期のいずれかの時期に，以下の自覚症状のうち2項目以上該当すること。ただし，それぞれの項目内のいずれかの症状を満たせばよい。

1．皮膚・爪・毛のうちいずれかに萎縮性変化
2．関節可動域制限
3．持続性ないしは不釣合いな痛み，しびれたような針で刺すような痛み(患者が自発的に述べる)，知覚過敏
4．発汗の亢進ないしは低下
5．浮腫

B．診察時において，以下の他覚所見の項目を2項目以上該当すること。

1．皮膚・爪・毛のうちいずれかに萎縮性変化
2．関節可動域制限
3．アロディニア(触刺激ないしは熱刺激による)ないしは痛覚過敏(ピンプリック)
4．発汗の亢進ないしは低下
5．浮腫

研究用

A．病期のいずれかの時期に，以下の自覚症状のうち3項目以上該当すること。ただし，それぞれの項目内のいずれかの症状を満たせばよい。

1．皮膚・爪・毛のうちいずれかに萎縮性変化
2．関節可動域制限
3．持続性ないしは不釣合いな痛み，しびれたような針で刺すような痛み(患者が自発的に述べる)，知覚過敏
4．発汗の亢進ないしは低下
5．浮腫

B．診察時において，以下の他覚所見の項目を3項目以上該当すること。

1．皮膚・爪・毛のうちいずれかに萎縮性変化
2．関節可動域制限
3．アロディニア(触刺激ないしは熱刺激による)ないしは痛覚過敏(ピンプリック)
4．発汗の亢進ないしは低下
5．浮腫

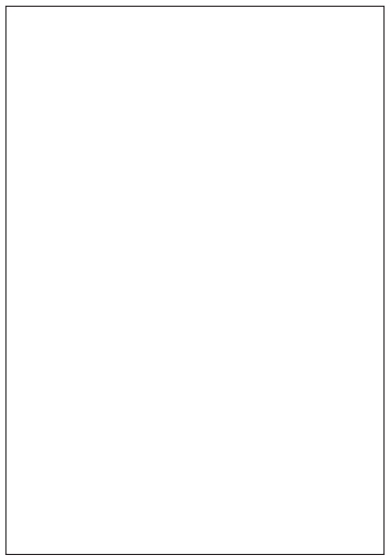
但し書き1：1994年の国際疼痛学会のCRPS診断基準を満たし，複数の専門医がCRPSと分類することを妥当と判断した患者群と，四肢の痛みを有するCRPS以外の患者とを弁別する指標である。臨床用判定指標を用いることにより感度82.6%，特異度78.8%で判定でき，研究用判定指標により感度59%，特異度91.8%で判定できる。

但し書き2：臨床用判定指標は，治療方針の決定，専門施設への紹介判断などに使用されることを目的として作成した。治療法の有効性の評価など，均一な患者群を対象とすることが望まれる場合には，研究用判定指標を採用されたい。外傷歴がある患者の遷延する症状がCRPSによるものであるかを判断する状況(補償や訴訟など)で使用するべきでない。また，重症度・後遺障害の有無の判定指標ではない。

私が推薦する本

教室から消えた「物を見る目」，「歴史を見る目」

推薦者：　都城市　佐々木医院　佐々木（ささき）　幸二（こうじ）



著　者　小　柳　陽太郎
発行所　草　　思　　社
定　価　１,６８０円(税込)

僕達は今，日本人としてあるべき正しい歴史認識，天皇を崇敬できる誇り，命をかけて祖国を守る気概があるかと問われると，頷きながらも口籠ってしまい，舌足らずの言葉しか出てこない。自分が正しいと思いながらも，他人や間違ったマスメディアに迎合してしまう。

そういう国民になったのは何故だろう？戦後占領下における書簡などの検閲や言論弾圧で日本国民は占領軍の目を窺いながら生きざるを得なかった。そして未だに戦後60年間平和憲法と称する他国の一方的な都合でできた憲法の下で生かされ，憲法改正されることなく月日は過ぎている。陽太郎先生の戦後の屈折した学校教育に対する厳しい批判「この異常な文化感覚，文部省も日教組も全てを含めて，教育に携わる者の心を蝕みつつある過去に対する傲慢さ，それに根底から反省を加えない限り，教育界の是正はとうてい望むべくもないことを知らなければならない」。12年前の第１刷発行ですが，まさに今日の優柔不断で，路頭に迷う国民の喫緊の課題を既に憂慮されています。

皆さん是非この本を拝読下さい。ムードに流されることなくしっかりと物事を見つめる的確な目が育まれると思います。さすが修猷館高校の精神的支柱といわれた国語の先生，僕は全ての頁でその美しい文体に共鳴し目頭が熱くなること屢々（しばしば）でした。陽太郎先生の優しい国民への想いと，内にあられる雄々しさを感じます。

「極まればまた蘇る道ありて命はてなし何かなげかむ」

「先に生ぜむものは後を導き，後に生ぜむものは先を弔ひ，連続無窮にしてねがわくは休止せざらしめんと欲す」

小柳陽太郎先生は僕達都城市民が敬愛してやまない都城病院長小柳左門先生の御尊父であられます。

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては，会員専用ページをご覧いただくか，所属郡市医師会へお問い合わせください。また，ＭＭＡ通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時ご案内しておりますので，まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会（http：//www.miyazaki-med.or.jp/）にアクセス
県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック
ユーザー名：医籍登録番号を入力
パスワード：生年月日（西暦の下二桁と月日）を入力（初期設定）
例）1950年11月2日生まれの場合，501102

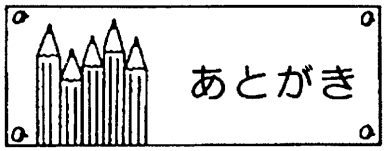
※ＭＭＡ通信への登録をご希望の方は，県医師会地域医療課までご連絡ください（TEL 0985-22-5118）。

送付日	文　書　名
平成24年12月18日	・「保育所における感染症対策ガイドライン」の改訂について
12月21日	・「麻しんに関する特定感染症予防指針」の一部改正について ・医療機関における院内感染対策について（通知） ・学校において予防すべき感染症の解説（案）の周知依頼について
12月26日	・医療機関におけるノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生に伴う死亡事例について（情報提供及び依頼） ・医療機関におけるノロウイルスに関する院内感染対策について（通知） ・平成24年度全国医師会勤務医部会連絡協議会における「愛媛宣言」について
12月28日	・医療機関におけるノロウイルスに関する院内感染事案の報告等について
平成25年1月4日	・「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進事業の実施について」の一部改正について ・麻しんに関する特定感染症予防指針の一部改正について ・医療事故情報収集等事業第31回報告書の送付について
1月5日	・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・日本医療機能評価機構「医療事故情報収集等事業医療安全情報」及び医薬品医療機器総合機構「PMDA医療安全情報」の送付について

送付日	文書名
1月10日	・健康づくり指導者講習会の開催について（依頼） ・共済組合員証の無効通知について
1月11日	・「ワクチン接種緊急促進事業実施要領」の解釈について
1月15日	・子ども予防接種週間の実施についての厚生労働省通知について ・油症診断基準の拡大による新たな患者認定の際の意見書作成及び油症患者受療券の利用可能医療機関の拡大に関する協力について ・麻しんに関する特定感染症予防指針の一部改正について
1月18日	・医療機関におけるノロウイルスに関する院内感染対策について（通知）
1月21日	・陽電子断層撮影診療用放射性同位元素の使用の場所等の制限について ・新医薬品の再審査結果平成24年度（その３）について ・組合員被扶養者証の無効について（通知） ・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について
1月22日	・共済組合員証の無効通知について
1月28日	・食品衛生法施行規則の一部改正について
1月29日	・平成24年度補正予算における地域医療再生基金及び平成25年度在宅医療連携拠点事業について

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8
c	e	b	d	e	b	a	a



昨年2012年は古事記編纂1300年で，宮崎各地で古事記関連のイベントが開催されました。私もこの機にと，古事記を読んだ者の一人ですが，その中に鵜戸神宮のお乳岩に関する神話がありました。お乳岩は，５年前の大学入学直後，新入生歓迎行事の中で先輩方に案内してもらい，先輩方から，この石に触ると「おっぱいが大きくなるらしい…」などといった噂話をされたのを覚えています。古事記でこのお乳岩に関する話には，初代天皇である神武天皇の父親である鵜葺草葺不合命(うがやふきあえずのみこと)とお爺さんである山幸彦が関係します。山幸彦は神話中，妻の豊玉姫から出産直前に次のように頼まれます，「決して，私が子を産む姿を見ないようにしてください」。しかし，山幸彦はこっそりと産屋を覗いてしまい，そこには，もがき苦しむワニがいました。ショックを受けた山幸彦は逃げ出し，姿を見られた豊玉姫も，悲しみのため故郷の綿津見へと帰ります。しかし残される我が子を心配し，腹がすかぬようにと，自分の乳房をちぎり，傍の岩にくっつけて帰ったそうです。それこそが現在のお乳岩であり，こういった神話を知り，改めて鵜戸神宮を昨年訪れてみると，５年前訪れた場所とは思えないほど，一つ一つの建物や，場所が神聖なものと感じられ，全く別の世界のようにさえ感じました。鵜戸神宮が何故安産祈願で参られるのかも，この母子愛の物語を読むとなるほどと納得できます。このように神話と関係する場所が宮崎には数多くあり，昨年は，そんな宮崎の魅力に沢山出会えた１年でした。５年間住んでいて宮崎のこのような魅力に全く気付けていなかったと反省する一方で，同じことが医学にも言えるのではないかと感じます。何も知らなかった入学当初から，厳しい試験に苦しめられた座学の学年，そして現在今のポリクリでの病棟実習と，より臨床の現場に近づきながら，また医学をより深く学んでいくことで，その学問の魅力を実感できています。テスト期間苦しめられた疾患の特徴など，実際の患者の方々からお話を聞くと，教科書通りだなと感動すると同時に，例外の存在や，患者間での微妙な違いなど，決して座学だけでは医学は語れないことを実感し，新鮮な発見に出会う毎日です。残り１年の学生生活，医学勉強に努めながらも，さらに医学と宮崎の魅力をどん欲に探していきたいと強く思います。こんな私ですが，これからもご指導よろしくお願いします。　（前田）

＊　＊　＊　＊　＊

2014年のＮＨＫ大河ドラマに「軍師官兵衛」放映決定，正月にわがふる里の大分県中津駅に降り立った際の横断幕で偶然知りました。官兵衛とは黒田節で有名な黒田藩祖の黒田官兵衛のことです。彼は豊臣秀吉の名参謀として九州平定等に活躍した功績から，かつて中津藩主にも任ぜられております。ちなみに，福沢諭吉も中津藩の出身であり，将来のＮＨＫ大河ドラマで「福沢諭吉」が放映されれば，願ったりかなったりです。今年はなんだかいいことがありそうな予感が…。皆様にも幸多き１年でありますように。　（黒川）

＊　＊　＊

１月12日に名古屋の大学医局の同窓会があり，出席してきました。退官された教授をはじめ，気の置けない医局の友人達と楽しいひと時をすごしました。翌13日は朝から東京にいき，今度は趣味つながりのグループと熱海で合流し，ぽかぽか天気の中を温泉＋ツーリングと非常に充実した二日間でした。翌日，あの爆弾低気圧が関東エリアを襲い，大雪と台風並みの風が吹き荒れ，都会の交通網が大混乱に陥ったのには大変驚きました。友人のfacebookに前日とは打って変わった雪景色が映し出され，昨日走った首都高も閉鎖され，よくぞ昨日帰ってきたなと自分の運の良さ？に感謝した連休でした。　（釜付）

＊　＊　＊

新年おめでとうございます。年明け早々，鵬翔サッカー部の高校サッカー制覇というううれしいニュースが入ってきました。宮崎県初の全国優勝！すばらしい，感動しました。同じ職場の女性従業員は背番号何番の子がかっこいいといった話で盛り上がっています。小学生のころサッカー部で大会優勝(淡路島の大会ですが…ショボ)を目指して毎日練習をしていた私としては，ユニフォームのエンブレムの上に優勝の証の★マークを付けられることがうらやましくて仕方がありません。　（沖田）

＊　＊　＊

内閣支持率が68％に上昇し，アベノミクスへの期待感が株価上昇を後押ししています。「うちも株でも買おうか」と思ったのですが，株や税制への知識ゼロが判明。世界で一番簡単な株の本というものを買いました。経済の知識は将来経済学部に行く方以外でも，やっぱり子供の頃から叩き込んでおかないと，世界から見れば私の様な人はカモネギ状態なのでしょう。今年こそは，色々と勉強(特に医学…)して成長出来る年にしたいです。　（大野）

＊　＊　＊

宮崎にも野生の動物達に出会う機会が多々ありますが，以前，北海道を旅行した際，熊に遭遇しました。知床や阿寒などの道東方面を観光するバスツアーに参加したときのことです。知床を走るバスの中，反対の窓側の人達がざわざわしていたので見てみると，川に熊がいました。上手に鮭を捕り，河原に運び，また鮭を捕り…，三匹くらい集まったところで食べていました。徐行するバスの中から見ていたので怖くはありませんでしたが，初めて目にする野生の熊にとても驚きました。　（陣門）

＊　＊　＊

ＮＨＫでは４月から週末に「おとうさんといっしょ」という新番組が始まるそうです。父子の触れ合いをうながし，“イクメン”を応援する内容とのこと。小学生の頃，社会の授業で「はたらくおじさん」という番組を時々見ていましたが，それから随分後に，番組名が「はたらくひとたち」となっているのを見て驚いたことをふと思い出しました。育児をするのは「おかあさん」だけではない，働くのは「おじさん」だけではないという時代の流れですね。　（荒木）

＊　＊　＊

今月のトピックス

年頭のご挨拶

今月号では宮崎県選出の国会議員の方々からご挨拶を頂きました。消費税増税や控除対象外消費税(損税)，TPP問題について言及されておられます。是非お目通しください。　4ページ

日州医談　有料老人ホームにおける諸問題

規制緩和の名のもとに無秩序に認可されることになった有料老人ホームの現状と問題点について，石川智信常任理事が介護保険制度崩壊の可能性に言及しつつ危機感を持って述べてくださいました。利用者の選択の自由が競争原理により質の向上につながるという期待は，「介護保険の総額規制」というコストに阻まれ幻想に終わりつつあるという実態を，医療におけるフリーアクセスと医療費の総額規制(案)に対比させれば，おのずと今後の医療政策の行く末が見えてくるかもしれません。是非，ご一読ください。　8ページ

新春随想

1月号に引き続き，会員の先生方に寄稿していただいた「新春随想」11編をご紹介します。

今年も1月号・2月号連続の掲載となります。内容も豊富で楽しく読んでいただけると思いますので是非ご覧になってください。　10ページ

診療メモ　外傷後の不可解な痛み　～複合性局所疼痛症候群(CRPS)とは？～

RSD(反射性交感性ジストロフィー)という概念は，近年CRPS(複合性局所疼痛症候群)という新しい概念で呼称されています。立山真吾先生が病態と治療指針，そして臨床における問題点についてわかりやすく解説してくださいました。　56ページ

日　州　医　事　第762号（平成25年2月号）（毎月1回10日発行）

発行人　公益社団法人　宮　崎　県　医　師　会
〒880-0023　宮崎市和知川原1丁目101番地　TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
http://www.miyazakimed.or.jp/　E-mail:office@miyazakimed.or.jp
代表者　稲　倉　正　孝
編　集　宮崎県医師会広報委員会
委　員　長　尾田　朋樹・副委員長　上野　　満，黒川　基樹
委　　員　篠原　立大，姫路　大輔，薮内　悠貴，湯淺美紗子
釜付　弘志，沖田　和久，大野　妙子，前田　雄洋，陣門　洋平
担当副会長　富田　雄二・担当理事　青木　洋子，荒木　早苗
事　務　局　学術広報課　喜入　美香，杉田　秀博
印刷所　有限会社 ケイ・プロデュース●落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定　価　350円（但し，県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります）